



2023年度 秋 学修コンシェルジュによる 大学院課程新入生ガイダンス (9月入学者対象)

学生支援センター未来人材育成部門 学修コンシェルジュ窓口



concierge.info@jim.titech.ac.jp



学修コンシェルジュ窓口HP

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

学修コンシェルジュ



目次

- 1) 学修コンシェルジュ pp.3-5

●確認事項

- 2) 早速確認しておきましょう pp.6
3) 早速設定しておきましょう pp.7-8

●大学紹介

- 4) 東工大の歴史 pp.9-14
5) 東工大の教育 pp.15-18

●大学院課程の各種科目や教育課程

- 6) 大学院課程での学修 pp.19-25
7) リベラルアーツ教育：文系教養科目 pp.26-32
8) キャリア教育 pp.33-39
9) 日本語・日本文化科目 pp.40
10) 学位プログラムとして特別に設けた教育課程 pp.41-53
11) 副専門学修プログラム・特別専門学修プログラム pp.54

●進路計画

- 12) 修士課程から博士後期課程への進学 pp.55

●経済的支援

- 13) 経済的支援 pp.56-58
14) 日本学術振興会特別研究員 pp.59-64

●留学・語学・国際交流

- 15) 海外留学 pp.65
16) 語学学修 pp.66
17) 国際交流・留学生支援 pp.67-68
18) にほんご相談室 pp.69

●学生支援・各種施設

- 19) 支援体制・相談窓口 pp.70-71
20) 附属図書館 pp.72-73
21) リベラルアーツ図書室 pp.74
22) オンライン教育：MOOC pp.75
23) 起業への支援 pp.76
24) TSUBAME計算サービス pp.77
25) 東工大同窓会による支援活動 pp.78
26) Taki Plazaでの学生交流 pp.79-81
27) 大岡山キャンパスの自習スペース pp.82

●今後のスケジュール

- 28) 今のうちにやっておきたいこと pp.83-84
29) 修士課程2年間の主なスケジュール（概要） pp.85

FAQ pp.86-88



1) 学修コンシェルジュ

学修全般に関する相談に乗ります。

- 皆さんが東工大での学修をスムーズに進めていけるように、相談、ガイダンスやセミナーなどの支援を提供しています。
- 履修の仕方、学修計画や大学生活について何か困ったこと・わからないことがあれば、気軽にご相談ください。英語対応可能です。

◇相談の利用方法

- 対面相談**：Taki Plaza、もしくはすすかけ台図書館の窓口へお越しください。詳細は続く2ページをご覧ください。
- メール相談・Zoomでの相談**：氏名、学籍番号、所属学院・系／コース、および相談内容を明記したうえ、次のアドレスへメールをお送りください。Zoomでの相談をご希望の場合はまずは相談日程を調整しますので、メールで希望日時をお知らせください。

✉ 学修コンシェルジュ窓口：concierge.info@jim.titech.ac.jp

さらに詳しい情報は学修コンシェルジュHPをご確認ください。
<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

※学修コンシェルジュは、学生支援センター未来人材育成部門に所属するスタッフ（専門員）です。



[大岡山キャンパス] Taki Plaza 学修コンシェルジュ窓口



場所：Taki Plaza 地下1階
Student Support Center窓口

時間：月曜日～金曜日 9:15～17:15

★ご利用の際は、「学修コンシェルジュ
に相談」とお伝えください。

※祝日・年末年始はお休みです。

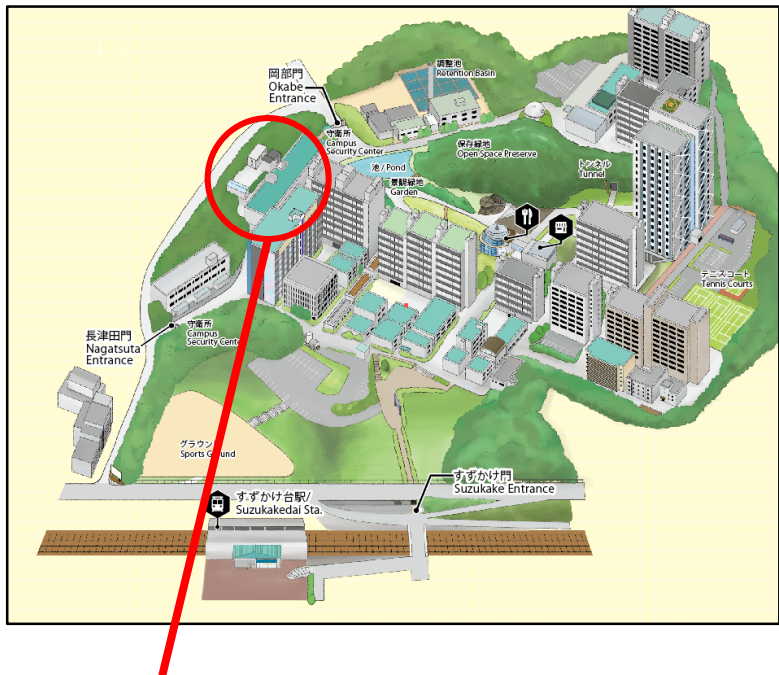
※イベント等で、一時的に不在場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の影響や、その他、やむを得ない事情により窓口を閉めることがあります。



[すすかけ台キャンパス]

すずかけ台図書館学修コンシェルジュ窓口



すずかけ台図書館

場所：すすかけ台図書館1階
(1階入口に入って右奥)

時間：毎週2日間 9:30～16:30
(11:15～12:15を除く)



詳しくは、学修コンシェルジュHPをご確認ください。



※イベント等で、一時的に不在の場合があります。

※祝日・年末年始はお休みです。

※新型コロナウイルス感染症の影響や、その他、やむを得ない事情により窓口を閉めることがあります。

2) 早速確認しておきましょう



□ 2023年度『大学院学修案内』

大学院共通の履修案内と各コースの学修課程に加えて、各種科目群の履修案内、所属コース以外の教育課程やプログラムの履修案内も含まれています。『学修案内』の**内容に基づき履修計画を立てましょう。**

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2023/graduate/

□ 大学院新入生オリエンテーション

個別科目のオリエンテーション（例：**キャリア科目オリエンテーション**）および**コースのオリエンテーション**があります。いずれも履修・学修に関する必要な情報について説明を行う予定です。日程を確認のうえ、必ず参加するようにしてください。

3) 早速設定しておきましょう

□ Tokyo Tech Mail (「@m.titech.ac.jp」) の設定

- 東工大構成員それぞれにメールアドレスが付与されています。在学中はこちらのアドレスを使いましょう。
- 授業や履修申告などに関する重要な情報も届きます。しっかり確認するようにしましょう。
- 利用方法の詳細は次のサイトを参照ください。自動転送設定や携帯電話アドレスへの転送設定の方法も掲載しています。転送の設定をお勧めします。

<https://portal.titech.ac.jp/ezguide/webmail.html>



- メールソフト (例: Outlook、macOS app) を利用する場合は、次のサイトを参照し設定してください。

<https://portal.titech.ac.jp/ezguide/mailsetup.html>



□ キャンパス無線LANの設定

- キャンパスで無線LANを利用する場合は、次の利用ガイドに従い事前に設定を行ってください。

https://www.noc.titech.ac.jp/doc/handout202204_jp.pdf



□ 東工大ソフトウェア包括ライセンスサービス

- Microsoft Officeなど、ソフトウェア包括契約に基づき様々なサイトライセンスが提供されています。利用情報を確認のうえ活用しましょう。

<https://www.gsic.titech.ac.jp/node/39>

<http://www.officesoft.gsic.titech.ac.jp/index.shtml>



4) 東工大の歴史



1884-92年
ワグネル博士

1882年
蔵前に校舎

1906年
蔵前工業会 (同窓会)

1923年 1924年
関東大震災⇒大岡山へ

● 蔵前 ～東工大発祥の地～

1882年12月、台東区蔵前2丁目辺りに、
本学の前身である東京職工学校の
レンガ造りの校舎が竣工。



- 「煙突のあるところ蔵前人あり」といわれる
ほど豊富な人材を生み出した。
- 東京工業大学の同窓会が「蔵前工業会」である理由

1923年9月1日、関東大震災により蔵前の校舎が
灰燼に帰す。

1924年4月、大岡山の地に移転。



蔵前の記念碑探検に行こう！
「第六天神神社」の境内に
あるよ！

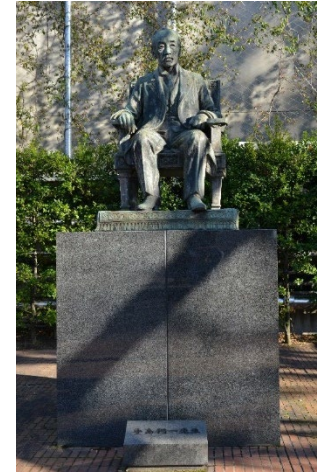
● 創立初期に東工大を育てた人物

◇手島精一

1890年校長就任～1916年退任 日本における工業教育の父

～工業学校と産業界の連携を保ち、
民業育成と工業近代化を担う人材を育成～

- 校名の改称
「東京職工学校」→「東京工業学校」
工業教育の重要性を訴えた
- 学科の改組
産業界の推移に適切に対応
- 志願者の拡大を図るため、入学手続きを改正
地方での受験、成績優秀者の特別入学許可
など



本館前の桜並木の近くにあるよ！



◇G. ワグネル博士



ひょうたん池近くに
記念碑



1884年窯業学を開講、1886年陶器玻璃工科設立
創立初期唯一の外国人教師 旭焼の開発（東工大博物館に所蔵）

● 東工大が積み重ねる世界一級の『実績』

絶対零度-273.15℃ の決定

1954年、木下正雄と
大石二郎の成果により
絶対零度の下2桁が決定



オートファジーの 仕組みの解明

大隅良典
2016年ノーベル生理学・医学賞



世界ではじめての ブラウン管式テレビ

高柳健次郎が
1926年に発明



光ファイバー通信

末松安晴が1961年から
光通信の研究を開始
末松門下生は学会・産業界で
光ファイバー通信の研究・事業化に
世界レベルで貢献



量子コンピュータ

1998年、西森秀稔が
量子アニーリングを提唱
量子コンピュータの
実用化に向けて大きく貢献



薄膜トランジスタ 「IGZO」の開発

細野秀雄のプロジェクトで
発明された研究成果を基に
シャープが世界初の量産化に成功



高性能スパコン 「TSUBAME」

省エネ性能世界一



● 東工大が積み重ねる世界一級の『実績』

導電性ポリマーの 発見と開発

白川英樹が東工大在籍中に発見
2000年ノーベル化学賞
ディスプレイ、LSI への応用へ

温度無依存 水晶振動子



古賀逸策が1932年頃に発明
2017年、IEEEマイルストーンに
認定される

フェライト・超伝導



加藤與五郎、武井武が
1930年にフェライト
（磁性体）を発明
TDKにより事業化される
細野秀雄は、鉄系化合物による
高温超伝導物質を発見

アンモニア合成への貢献



1913年、初の工業化チームの
一員として田丸節郎が活躍
その後の触媒開発を尾崎萃、
秋鹿研一、細野秀雄、原 亨和らが行う

ビタミンB2

星野敏雄、佐藤徹雄が
1951年に合成・工業化に
成功

東工大百年記念館



東工大におけるミュージアム
機能の中心的な役割
設計者である篠原一男は、
2010年ヴェネツィア・ビエンナーレ
特別記念金獅子賞

歯車

中田孝が1929年頃から
研究を開始
自動車産業の発展に
大きく貢献

● 大隅良典栄誉教授 ノーベル生理学・医学賞 2016受賞記念碑



● 古賀逸策名誉教授 「温度無依存水晶振動子」 IEEEマイルストーン記念碑



5) 東工大の教育

● 東工大が掲げる人材像

卓越した専門性に加えてリーダーシップを備えた
理工系人材を育成し、より良い世界を創る

卓越した専門性



- 数学・物理学・化学・生命科学など理工系基礎科目の充実による徹底した基礎学力
- 世界最高水準の科学・技術分野での基礎学力・専門能力
- 科学・技術により新しい社会を切り拓く気概

リーダーシップ



- 専門に加え教養も含めた幅広い視野
- 異分野・異文化を許容し協調するためのコミュニケーション能力
- グローバルな課題へ挑戦する力
- 世界に雄飛する気概と人間力

● 東工大の教育ポリシー



● 東工大修士課程の養成する人材像

国際的に貢献できる科学技術の専門家

修士課程では、幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を養成します。

● 修士課程の卒業認定・学位授与の方針 (ディグリー・ポリシー)

専門力	幅広い専門力：研究及び技術開発を深める幅広い専門力
教養力	国際的に通用する教養と自ら学び考え続けることができる力： ・物事を俯瞰的かつ 国際的な視野で把握でき、国際的に通用する幅広い知識と語学力 ・目的を掲げ、倫理観と何事にも挑戦する意志をもって行動し、自ら学び考え続けることができる力
コミュニケーション力	状況に応じた説明ができ、多様な考えをまとめることができる力：周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができ、そして、多様な考えをまとめることができる力
展開力（探究力又は設定力）	科学技術の深奥を究めようとする探求力：多角的な視点で事象を整理できるとともに、論理的な思考で分析でき、科学技術の深奥を究めようとする探求力
展開力（実践力又は解決力）	実践的な問題を解決できる力：豊かで確かな発想力や創造力を用い、幅広い知識や技能を自在に活用して実践的な問題を解決できる力

● 博士後期課程の養成する人材像

より良い社会を構築できる科学技術のフロンランナー

博士後期課程では、卓越した専門力、並びに、国際的な場で実践できる教養、そして、社会に対して論理的に説明でき、リーダーシップを発揮できる力を身に付け、限界を設けず挑戦し本質や普遍性を見抜いて、新たな知の発見、価値の創造及び発信ができる人材を養成します。

● 博士後期課程の卒業認定・学位授与の方針

(ディグリー・ポリシー)

専門力	卓越した専門力：研究及び技術開発をリードして、新たな知を生み出し、かつ体系化へと導く専門力
教養力	国際的な場で実践できる教養と自ら学び考え抜き行動することができる力： ・物事を俯瞰的かつ国際的な視野で理解でき、国際的な場で実践できる体系的で幅広く深い知識と語学力 ・確かな倫理観と限界を設けず挑戦する強い意志をもって、新たな知の発見及び価値創造のために自ら学び考え抜き、具体的に行動することができる力
コミュニケーション力	社会に対して説明ができ、リーダーシップを発揮できる力：社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができ、そして、リーダーシップを発揮できる力
展開力（探究力又は設定力）	新たな課題を発見し探究及び設定できる力：多角的な視点で事象を整理できるとともに論理的な思考で分析でき、科学技術の深奥を究め、さらに、本質や普遍性を見抜いて新たな課題を発見し探究及び設定できる力
展開力（実践力又は解決力）	実践的で高度な問題を解決でき、新たな知見を発信できる力：独創的で優れた発想力や創造力を用い、幅広く深い知識や技能を有機的に結び付けて活用して実践的で高度な問題を解決し、さらに新たな知見を発信できる力

6) 大学院課程での学修

● 学修期間

- 標準の在学期間は、修士2年間、博士3年間
- 早期卒業・短縮修了すると大学院課程を最短3年で博士学位を取得できます。自らの目標に合わせて柔軟な学修期間に設定できます。

【標準の在学期間】

年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
課程	学士課程				修士課程		博士後期課程		
	学士課程4年				修士課程2年		博士後期課程3年		

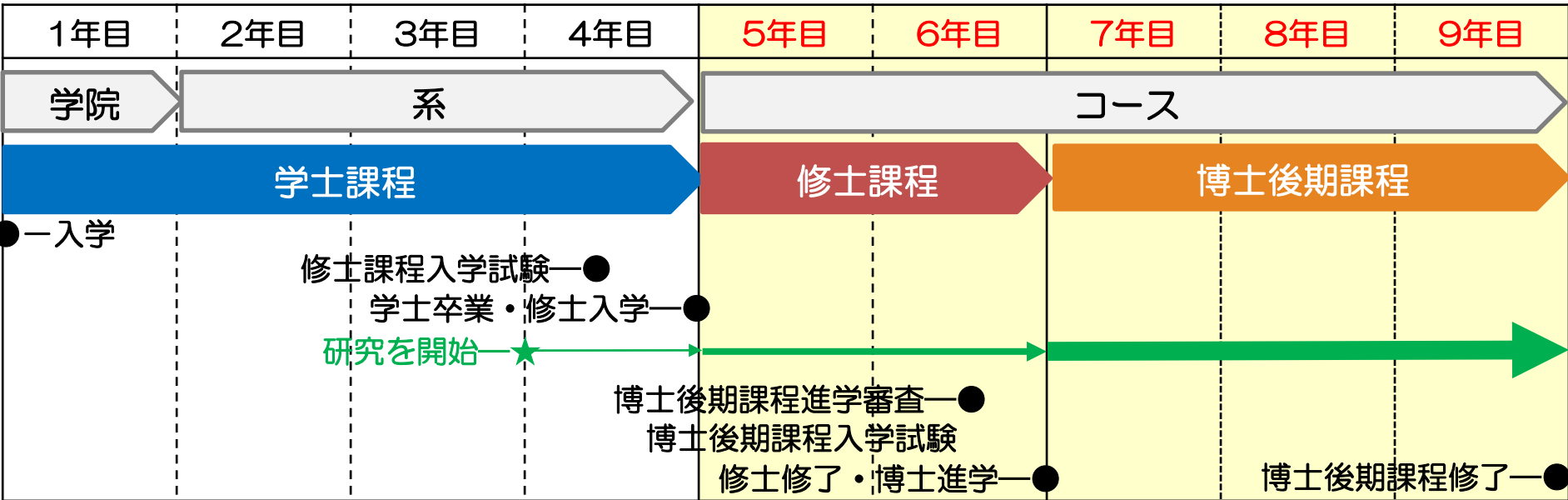
【7年間で早期卒業・短縮修了する例】

年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
課程	学士課程			修士課程		博士後期課程	
	学士課程3.5年 (通常4年・最短3年)			修士課程1.5年 (通常2年・最短1年※)		博士後期課程2年 (通常3年・最短1年※)	
※修士課程と博士後期課程で、 計3年以上の在学期間が必要です。							

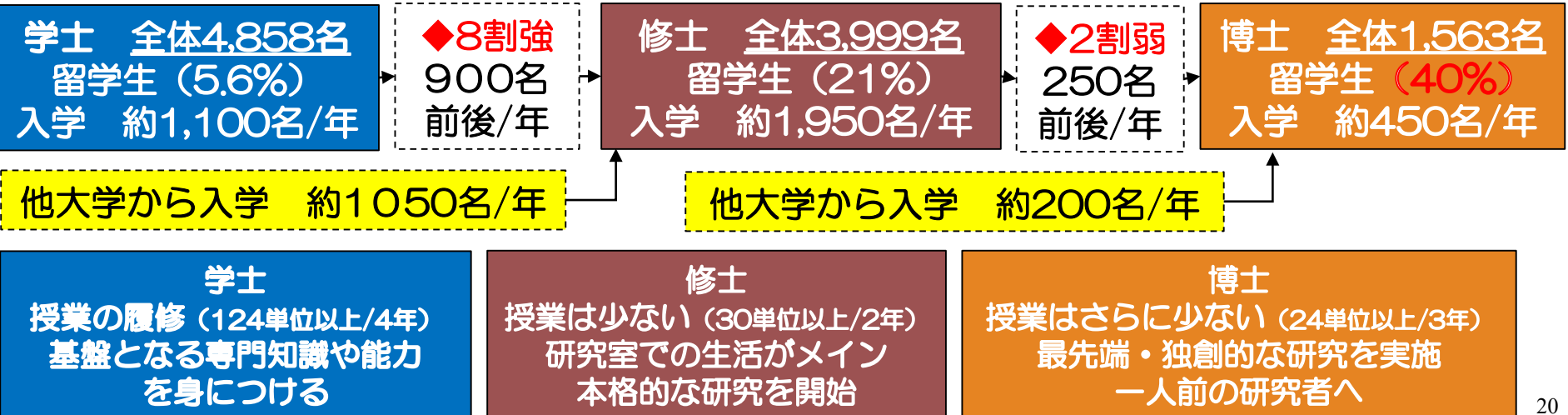
● 学士課程から大学院課程へ

学士課程（4年間）

大学院課程（5年間） 修士課程＋博士後期課程

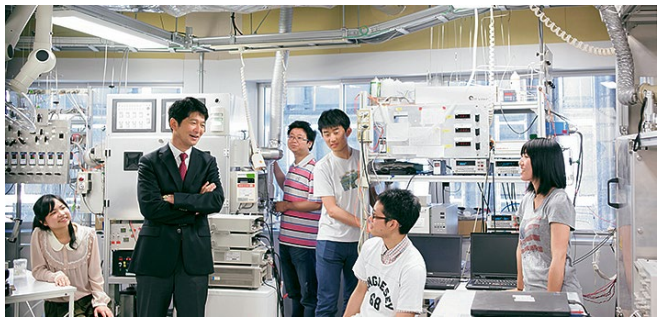
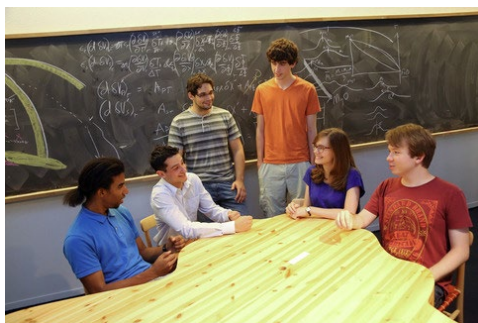


※全体人数は、2023.5.1現在



● 年間スケジュールと主な活動の例（修士・博士）

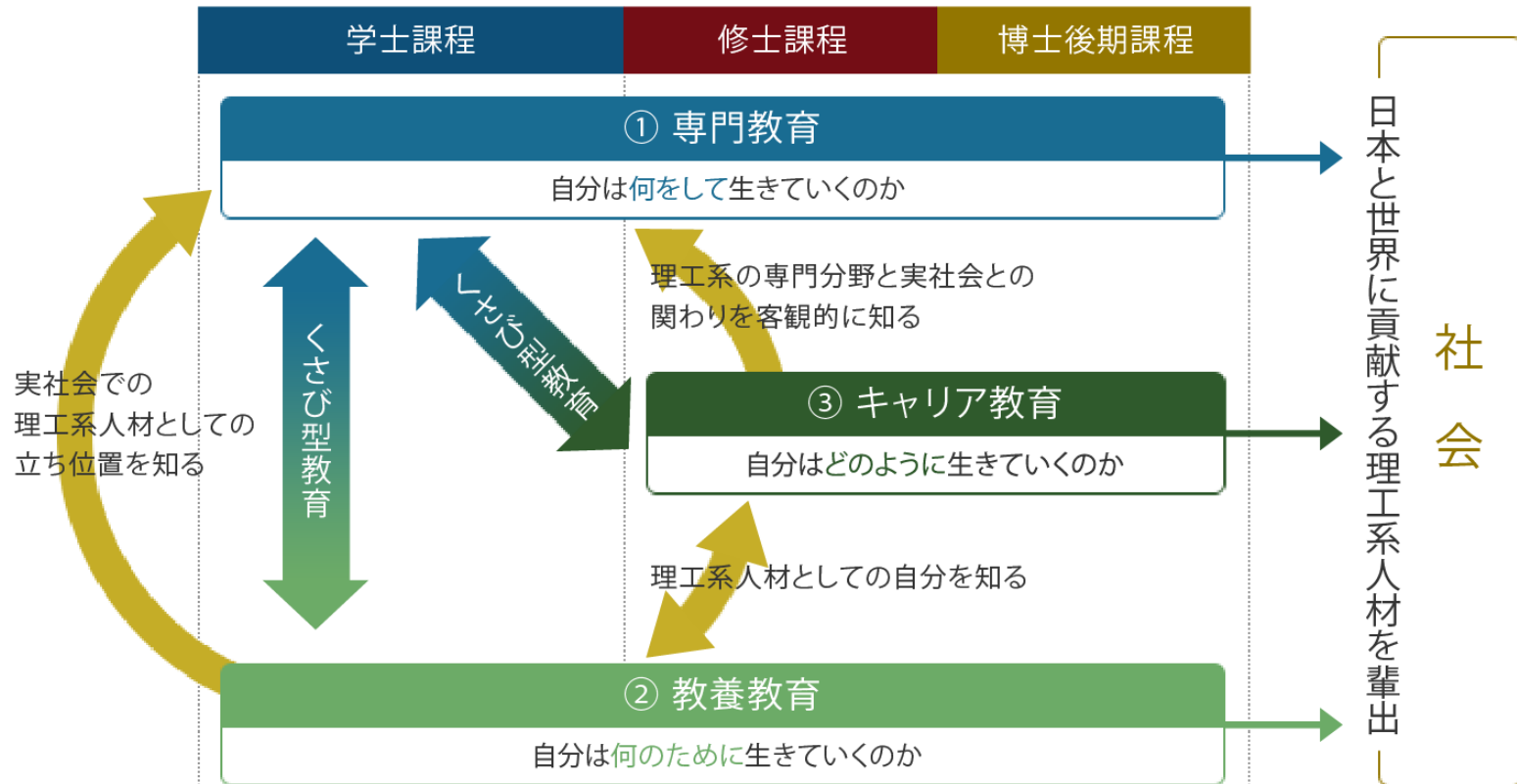
5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
修士課程		博士後期課程		
●ーオリエン・歓迎会		●ーオリエン・歓迎会		
←研究室ゼミ、学会参加、研究室旅行など				
●ー修士論文構想発表		●ー博士論文構想発表		
←就職活動→		←就職活動→		
論文中間発表ー●		●ー論文中間発表		
修士論文最終発表ー●		●ー論文予備審査		
&送別会		博士論文最終発表ー●		
		&送別会		



大学院生は、授業や講義よりも
研究室での研究が主な活動の場です。
 実験や、議論、論文読み会、セミナーなど、指導教員や研究室のメンバーとともに過ごす時間が多くを占めることになります。
 研究室メンバーには、留学生や社会人、研究生がいることもあります。
 また、企業インターンシップに参加したり、国際学会で発表したり、学術誌に研究成果を投稿することもあります。

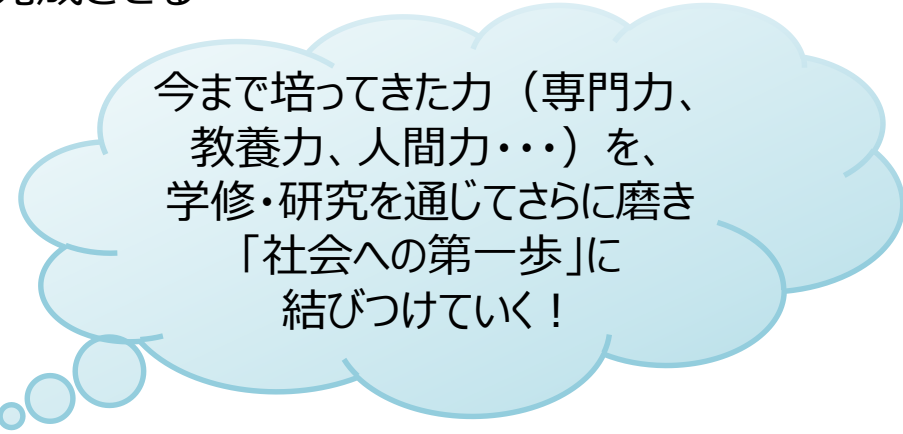
● 東工大の教養教育

- 東工大生に期待されているのは、理工系の専門性だけではありません。
- どのように生きていくのか、何のために生きていくのか、という自分の考えを持つことで、専門分野を活かし社会に貢献する力が身につきます。



● 大学院課程でできること

1. 修士・博士の学位が取れる、自分の最初の1つの専門領域を確立する
 - ・講義（コースワーク）による知識・技術習得
 - ・研究室に所属して研究を行い学位論文を完成させる
2. 世界レベルの研究に参加できる
 - ・最先端の研究者との交流
 - ・留学による研究への参加
3. 教養を身につけることができる
 - ・教養教育に関する講義
 - ・同窓会主催の各種講演会
 - ・留学生との交流
4. 各学会活動への参加
 - ・学会での最先端技術情報の収集
 - ・研究論文の発表
5. 修士課程の副専門学修プログラム、特別専門学修プログラムで専門の幅を広げる
6. 学位プログラムとして特別に設けた教育課程で「専門 + α 」を本格的に目指す
7. 将来の夢への第一歩を踏み出す準備
 - ・キャリア教育、キャリア支援（イベント、個人相談）
 - ・同窓会主催学内合同企業説明会（K-meet）



今まで培ってきた力（専門力、教養力、人間力・・・）を、学修・研究を通じてさらに磨き「社会への第一歩」に結びつけていく！

大学院時代は、学修、研究に集中しながら、同時に、「今まで培った力をどこでどう活かしてこの先、生きていくのか」を本格的に考える時期です。

● 修士課程のカリキュラムと修了要件等

修士課程（専門職学位課程）に入学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細： 本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- ・ 400～500番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、キャリア科目を中心に履修。

≪修了要件≫ **400～500番台から30単位以上**を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
→ 修了後、学位取得

文系教養科目： **2**単位以上（400番台） **1**単位以上（500番台）

キャリア科目： **2**単位以上（400～500番台）

（指定するGAを満たすこと）

専門科目等 ： **18**単位以上

講究科目 ： **4-8**単位（各コースにより異なる）

※専門職学位課程：専門職大学院に2年以上在学し、40単位以上の修得、その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。

◆その他

- ・ 学位は、修士（理学・工学・学術）、専門職（技術経営）
- ・ 標準修業年限は2年、在学年限は4年。休学は通算2年迄。
- ・ 特に優れた研究業績が**ある場合や、修士課程に入学する前に修得した大学院の単位を既修得単位認定した場合は、修士課程を短縮修了できる可能性あり。**

● 博士後期課程のカリキュラムと修了要件等

博士後期課程に入学・進学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細： 本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- 600番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、キャリア科目を中心に履修。
 ≪修了要件≫ **600番台から24単位**以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
 → 修了後、学位取得

文系教養科目：2単位以上

キャリア科目：4単位以上（指定するGAを満たすこと）

専門科目等：6単位（コースによっては専門科目6単位）

講究科目：12単位（短縮修了者は在学中の単位のみで可）

- 修士課程時に要件を満たせば、600番台専門科目を先んじて学修することができる。（博士進学後に単位が認定される）

◆その他

- 学位は、博士（理学・工学・技術経営・学術）
- 標準修業年限は3年、在学年限は6年。休学は通算3年迄。→最大9年間 可。
- 特に優れた研究業績があれば、博士後期課程を短縮して修了することが可能。但し、大学院課程（修士課程＋博士後期課程）で3年以上の在学期間が必要。
 （参考：学士課程3年で早期卒業＋大学院課程3年で短縮修了 可能）

7) リベラルアーツ教育（文系教養科目）

「学院」が提供する「理工系専門知識」という縦系と、
「リベラルアーツ研究教育院」が提供する「教養」という横系で、
東工大生の未来を紡ぎます。



リベラルアーツ研究教育院は21世紀社会の時代的課題を把握し、その中での自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く探究する「人間性」、行動し、挑戦、実現する「創造性」を兼ね備え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。

東工大リベラルアーツ教育3つの特徴



「志」ある東工大生の育成

① 「志」と主体的な学びのストーリー

豊かな社会性・人間性をもって専門的な知を実社会で活かしていくことのできる、志ある人材を育成します。学生は、自分の志に即して科目を選び、学びを主体的にデザインします。

② 教養コア学修科目

教養コア学修科目は、教養教育の柱となるユニークな科目。学士課程入学直後から博士課程まで続きます。「東工大立志プロジェクト」「リーダーシップ道場」「越境型教養科目」などがあります。

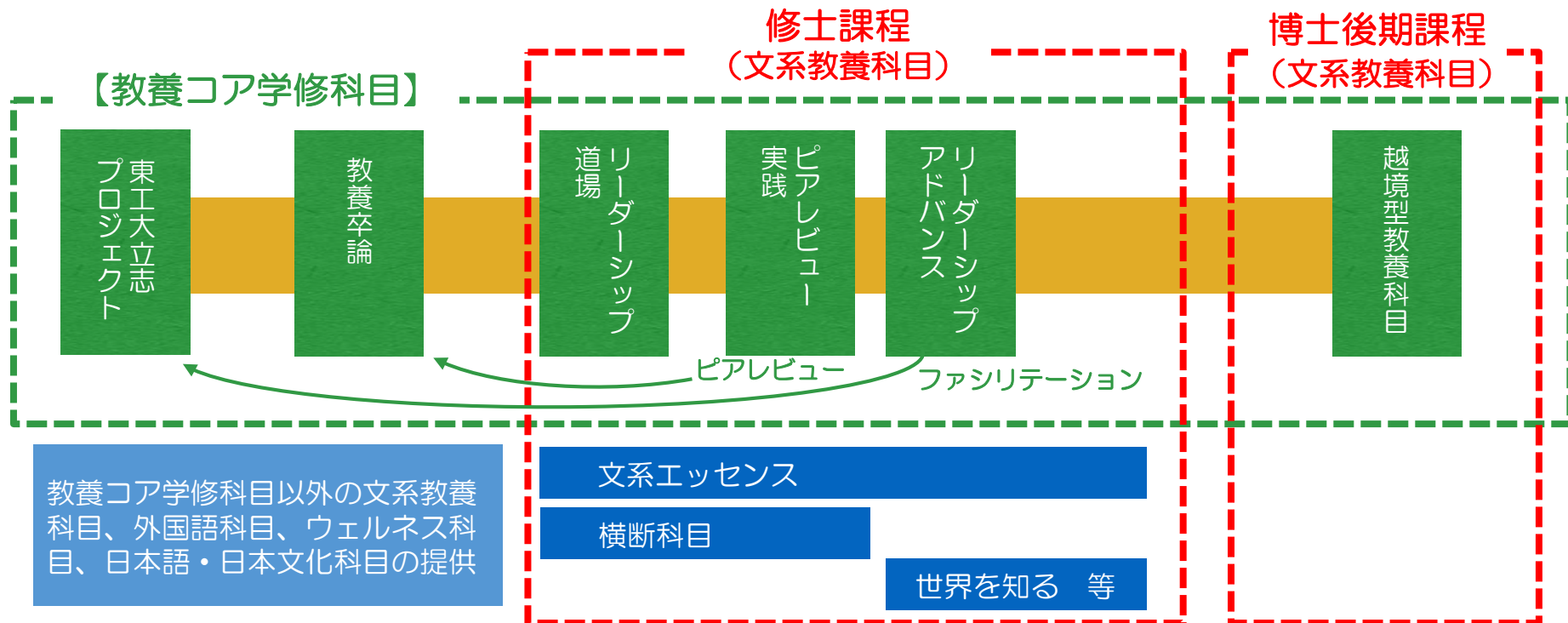
③ 教え合い・学び合い

同じクラスの仲間や下級生と、教え合い、学び合うグループワークの機会が多数あります。リーダーシップやファシリテーションスキルを磨きます。

◆文系教養科目（リベラルアーツ研究教育院が提供する教養科目）

現実社会に起こっている問題で、ひとつの学問領域だけの力で解決できる問題はありません。どんな高度な専門知識も、それを実社会で生かすためには、他者と関わりながらプロジェクトをすすめていくリーダーシップや、諸学問全体の見取り図の中での自分の専門分野の位置を理解する俯瞰力、世界のさまざまな地域の文化的社会的背景に対する知識が必要です。

文系教養科目は、以下のようないくつかの科目のカテゴリーに分かれています。一つのカテゴリーの中に、内容の異なる科目がひとつないし複数用意されています。



<修士課程における教養コア学修科目>



「リーダーシップ道場」は、修士課程1年目の科目です。仲間の能力を最大限活かしながら目標に向かってチームを導くリーダーシップ力を身につけます。リーダーシップ道場履修者のうち、特定の要件を満たした学生には、身につけた能力を活かして学士課程教育に貢献しながら、さらにスキルを高めるための実践科目が用意されています。「ピアレビュー実践」では、教養卒論執筆をサポートします。「リーダーシップアドバンス」では、東工大立志プロジェクトのグループワークをファシリテートします。

<博士後期課程における教養コア学修科目>

越境型教養科目

先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、異分野の研究者と協力して課題解決を行い、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造します。

専門分野や文化的背景の異なる学生間でのコミュニケーション能力の確立
 リーダーシップ・学際性・情報発信能力の涵養
 社会における役割の自覚

◆ 文系教養科目の履修上の注意（修士課程①）

文系教養科目の科目コードは「LAH」から始まります。

文系教養科目には、教養コア学修科目とそれ以外の科目があります。

➤ 修了要件

修士課程：400番台の科目を2単位以上、500番台の科目を1単位以上

※「教養コア学修科目」または「教養コア学修科目以外の科目」だけで合計3単位修得しても、両者を組み合わせて修得しても、どちらでも構いません（すべて1単位）。

➤ 履修の進め方（番台順）

東工大では、学士から博士後期課程まで継続的に教養科目を履修する「くさび型教育」を実践しています。番台順に履修することが推奨されており、**修士課程入学直後の学期（4月入学者であれば1・2Q、9月入学者であれば3・4Q）に履修申告できる文系教養科目は400番台のみです。**500番台文系教養科目は、入学後半年してから（4月入学者であれば3・4Q、9月入学者であれば翌年1・2Qから）履修可能となります。

➤ 教養コア学修科目

- 400番台：「リーダーシップ道場」（1Q～4Q開講）
- 400番台：「ピアレビュー実践」（3・4Q開講）
- 500番台：「リーダーシップ アドバンス」（1Q開講）

「ピアレビュー実践」「リーダーシップ アドバンス」を履修するためには、「リーダーシップ道場」を履修し、80点以上の成績を修める必要があります。

➤ 教養コア学修科目以外

「文系エッセンス」（文学、政治学など）、「横断科目」（様々な専門の先生のコラボ）、「世界を知る」（世界の文化、宗教など地域スタディ）など。すべてのクォーターで開講しています。

変更される場合もありますので、常にシラバスや「文系教養科目案内」サイトなどで、最新情報を確認して下さい。

◆ 文系教養科目の履修上の注意（修士課程②）

➤ 履修予約

- 修士課程文系教養科目は、「履修予約」制度を設けています。通常の履修申告期間に先立ち、履修希望を受け付けし、履修許可科目を決定する制度です。それぞれの科目の特性に応じて設定された受講人数で、できるだけ多くの皆さんの希望に沿った科目を履修してもらうためのもので、年に2回（1・2Qの前、3・4Qの前）実施しています。
- 履修希望の回答手続きは教務Webシステム上で行います。履修予約期間終了後、希望者多数の科目については抽選を行った上で、履修許可者を決定します。履修予約時に抽選になる科目も多くあります。履修の際には、履修予約で許可された学生が優先されますので、必ず履修予約を行ってください。

ただし、入学直後の今年度3・4Q文系教養科目については、9月入学の皆さんには9月入学者用の枠を設けていますので、履修予約する必要はありません。通常の履修申告を行ってください。9月入学者枠が定員超過しない限り、履修することが出来ます。来年度1・2Q分からは、履修予約制度を利用しながら履修を進めてください。

履修予約実施の案内はメールでお知らせします。「~@m.titech.ac.jp」のアドレス宛に送信される、大学からのメールは必ず確認してください。※送信されたメールは、教務Webシステムトップ画面の「お知らせ」欄でも確認できます。

◆ 文系教養科目の履修上の注意（博士後期課程①）

➤ 修了要件

博士後期課程：600番台の科目を2単位以上

➤ 「越境型教養科目」（すべて英語開講、1科目2単位）

- 2Qおよび4Qに開講します。同一内容ですのでいずれかのQで履修してください。ZOOMによるライブ授業（5回）とオンデマンド授業（2回）で構成されます。
- ライブ授業は、おおよそ隔週土曜日（1～4限）に、ZOOMを使って実施されます。シラバスで開講日を確認し、必ず全回出席できるクォーターを選んで履修申告してください。グループワーク中心の科目のため、公欠制度は原則適用されません。欠席の扱いについてはシラバスで詳細を確認してください。

➤ 履修人数制限について

- 履修希望者数が定員を超える場合は、教務Webシステム上の履修申告状況に基づいて人数制限（抽選）を行います。人数制限（抽選）は「初回授業の実施日より前」の所定の時期に実施されます。各科目のシラバスに記載された期日までに、必ず履修申告を行ってください。
- 大学からの重要なお知らせは「～@m.titech.ac.jp」のアドレス宛に送信されます（人数制限が行われた際の結果のお知らせなども、このアドレスを通じて連絡が届きます）。各自早めにメールアドレスの設定をしておいてください。

◆ 文系教養科目の履修上の注意（博士後期課程②）

➤ 「教養先端科目」（600番台/1単位）について

「教養先端科目」（600番台/1単位）は、2022年度以降の入学者は履修できません。

この科目は、2021年度までに文系教養科目※で1科目（1単位）修得済みの学生のみ、履修することができます。

（※「教養先端科目1A～4A」「学生プロデュース科目1A～4A」「グローバル・ドクターY1～Y4」など。留学生の場合は「日本語・日本文化科目」も含む）

2021年度以前の入学者であっても600番台文系教養科目を未修得の学生、および2022年度以降の入学者は「越境型教養科目」（1科目2単位）を履修して下さい。

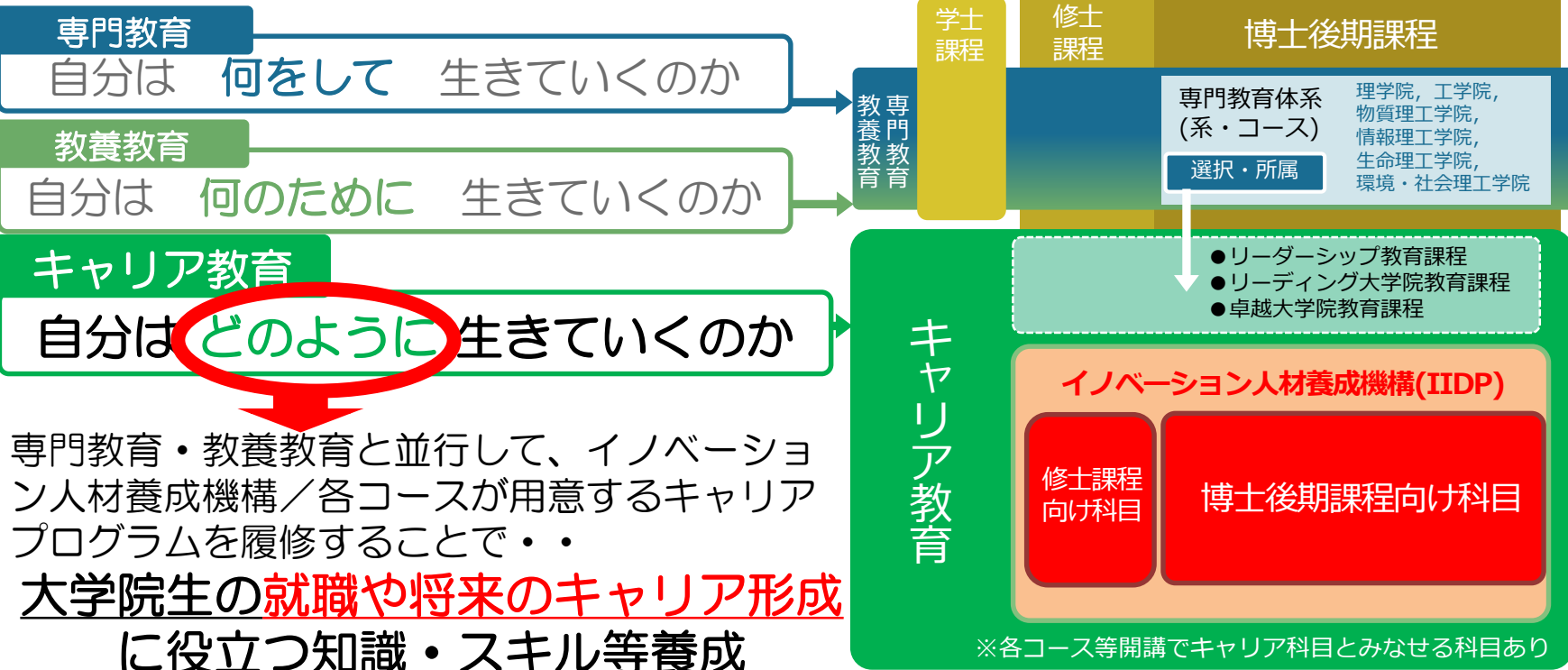
文系教養科目に関する問い合わせ先（修士課程・博士後期課程共通）
リベラルアーツ研究教育院 文系教養科目担当事務

「文系教養科目案内サイト」 <http://bunkei.ila.titech.ac.jp/>



8) キャリア教育 Innovator and Inventor Development Platform

卓越した理工系の専門能力を身につけ、それを社会へつなげていくために



専門教育・教養教育と並行して、イノベーション人材養成機構／各コースが用意するキャリアプログラムを履修することで・・・

大学院生の就職や将来のキャリア形成に役立つ知識・スキル等養成

- 【キャリア科目】
1. キャリアデザインの基礎
 2. キャリアのロールモデル
 3. インターンシップ・OJT
 4. 社会のルール・倫理
 5. 文章作成等スキル向上 など

- 【キャリア科目以外にもキャリア関連プログラムを提供】
- 企業関係者に対するポスターセッション（自己アピール）
 - 外資系企業交流会
 - 中長期インターンシップ説明・情報交換会
 - 日本語就職面接講座
 - 公務員セミナー など
- 【蔵前工業会に協力】
- 蔵前就職情報交換の集い（K-meet）
 - 博士後期課程学生のための蔵前就職情報交換の集い（Dr' s K-meet）

修士・博士後期課程合わせて、**2022年度**はキャリア科目として**全学で約600科目を開講！** 33

● キャリア科目（修士課程）

➤ 履修単位とGA（Graduate Attributes）

- 修士課程修了要件として、イノベーション人材養成機構（IIDP）や所属コースが開講するキャリア科目のなかから**2単位以上**履修する必要があります。
- それぞれのキャリア科目に下記の**GAが設定されています（科目によってどちらか片方のGAの場合と両方の場合があります）**。
- 履修するキャリア科目の2単位は、**2つのGAをいずれも満たす**必要があります。（両方のGAが設定されている科目は、当該科目の単位取得により、両方のGAを満たしたことになります。）
- 修了要件については、必ず所属コースの学修案内などの規定に従ってください。
- 各コースには、社会人学生のために開講されている科目もありますので、必要に応じて指導教員と相談してください。

➤ 修士課程GA

【GAOM】自らのキャリアデザインを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係、倫理を含めて認識できる

【GA1M】自らのキャリアデザインを実現するために必要となる知識・スキル、倫理等を修得し、他者と共同して課題解決に貢献できる

➤ 履修スケジュール（※GAは2022年度入学生から変更されています。2021年度以前の入学生は旧GAが適用されます）

- 全クォーターの講義を確認した上で、修士課程修了までの2年間で2GAを満たすように2単位を履修するスケジュールを考え、履修登録してください。
- GAについて履修する順番はありません。（GA1Mを先に履修しても構いません。）
- 修士課程スタート時に集中して講義を履修するよりも、**2年間の計画**として研究と講義のバランスを考えて履修する方が効果的に研究・学修ができます。

● IIDPが開講する修士課程向けキャリア科目一覧 (2023年度：今後変更の可能性あり)

※下表中の科目はいずれも1単位。英語で書かれている科目は英語で開講。

GA Q	GA0M	GA1M
1Q	➢ 修士キャリア構築基礎【A1】【A2】【A3】 ➢ Master's Global Career Development Literacy【A】 ➢ 修士キャリアデザイン演習【A1】【A2】	
2Q	➢ 修士キャリア構築基礎【B】 ➢ 修士キャリアデザイン演習【B1】【B2】	➢ 修士社会・ビジネスのルールと倫理【B1】【B2】 ➢ Master's Scientific Communication
3Q	➢ 修士キャリア構築基礎【C】 ➢ Master's Global Career Development Literacy【C】 ➢ 修士キャリアデザイン演習【C1】【C2】	➢ 修士キャリア構築ロールモデル【C】 ➢ 修士社会・ビジネスのルールと倫理【C】 ➢ 修士研究と社会貢献【C】（集中講義）
4Q	➢ 修士キャリアデザイン演習【D1】【D2】	➢ Master's Critical Thinking ➢ 修士キャリア構築ロールモデル【D】

※変更になる可能性があるので、時間割、シラバス、IIDPサイト等を随時確認してください。

- 各科目の詳細はシラバス<http://www.ocw.titech.ac.jp/>を確認してください。
- 上記科目の他にも各コースで開講されているキャリア科目があります。
「大学院学修案内」より、「各コース等学修課程」で所属コース等で開講されているキャリア科目を確認してください。

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2023/graduate/

※社会人としての実務経験を有する学生向けに、各コースにてリカレント科目を開講しています。
履修に関心のある方は指導教員に相談してください。

● キャリア科目（博士後期課程）

➤ 単位

- 博士後期課程修了要件として、IIDP（イノベーション人材養成機構）や所属コースが開講するキャリア科目のなかから**4単位以上**履修する必要があります。
- それぞれのキャリア科目に、下記の**GA（Graduate Attributes）**が設定されています（科目によって**どちらか片方のGAの場合と両方の場合があります**）。
- 履修するキャリア科目の4単位は、**2つのGAをいずれも満たす**必要があります。両方のGAが設定されている科目は、当該科目の単位取得により、両方のGAを満たしたことになります
- 修了要件については、必ず所属コースの学修案内などの規定に従ってください。
- 各コースには、社会人学生のために開講されている科目もありますので、必要に応じて指導教員と相談してください。

➤ 博士後期課程GA

【GA0D】自らのキャリアを明確にデザインし、アカデミア・産業界の構成員として活躍するための知識・スキル、社会的責任、倫理等を包括的に理解して、イノベーション実現に貢献できる

【GA1D】自らがデザインしたキャリアを実現するために必要な高度なリーダーシップ、アントレプレナー、知識・スキル、社会的責任、倫理等を身に着けることで、イノベーションの実現を主導できる

（※GAは2022年度入学生から変更されています。2021年度以前の入学生は旧GAが適用されます。）

➤ 履修スケジュール

- 1年次最初の段階では「博士キャリアデザイン」、「Doctoral Strategy for Balancing Career, Personality and Lifestyle」など、**GA0D科目**を履修し、別のクォーターでGA1Dが含まれる科目を履修することが望ましいです。
- DC（特別研究員）申請書作成実習を行うキャリア科目を年4回（各クォーターごと）開講しています。意欲のある方は、履修してください。

● IIDPが開講する博士課程向けキャリア科目一覧 (2023年度：今後変更の可能性あり)

※下表中の科目はいずれも1単位。英語で書かれている科目は英語で開講。

GA Q	GA0D	GA1D
1Q	博士キャリアデザイン【A】	- 博士アカデミックリテラシー【A】（集中講義） - Doctoral Technical Discussion【A】 - Doctoral Technical Writing【A】
2Q	Doctoral Strategy for Balancing Career, Personality and Lifestyle【B】（Intensive Course）	- 博士アカデミックリテラシー【B】（集中講義）★ - 博士アカデミックティーチング【B】（集中講義）★ - 博士アカデミックプレゼンⅠ（集中講義）★ - 博士アカデミックプレゼンⅡ【B】★ - 博士社会・ビジネスのルールと倫理【B】 - Doctoral Technical Discussion【B】
3Q	- 博士キャリアデザイン【C】 - Doctoral Strategy for Balancing Career, Personality and Lifestyle【C】（Intensive Course） - Doctoral Developing Career Adaptability for Global Competitiveness	- 博士アカデミックリテラシー【C】（集中講義）★ - 博士アカデミックティーチング【C】（3Q）（集中講義）★ - 博士アカデミックプレゼンⅢ（集中講義）★ - 博士科学者・技術者の倫理 - Doctoral Technical Writing【C】 - Doctoral R&D and Business Strategies of Global Companies【C】
4Q		- 博士アカデミックリテラシー【D】（集中講義）★ - 博士アカデミックプレゼンⅡ【D】★ - 博士アカデミックプレゼンⅤ（集中講義）★ - 博士社会・ビジネスのルールと倫理【D】 - Doctoral Technical Discussion【D】 - Doctoral R&D and Business Strategies of Global Companies【D】 - 博士企業ビジネス・研究開発戦略実践研修（集中講義） - 博士企業経営とビジネスモデルケーススタディ

- 変更になる可能性があるなので、時間割、シラバス、IIDPサイト等を随時確認してください。
- 上記のほか通常の講義スタイルとは異なる科目として、「博士アカデミック海外研修」(GA1D, ★)、「博士アカデミック国内研修」(GA1D, ★)、「博士企業研究インターンシップ」(GA1D)があります。履修に関心のある方はシラバスを確認してください。
- 一部の研修科目(★)は、博士後期課程入学後半年以内は履修不可です。シラバス等を確認してください。
 - 各科目の詳細はシラバス<http://www.ocw.titech.ac.jp/>を確認してください。
 - 上記科目の他にも各コース等で開講されているキャリア科目があります。
- 「大学院学修案内」より、「各コース等学修課程」で所属コース等で開講されているキャリア科目を確認してください。
https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2023/graduate/
- 社会人としての実務経験を有する学生向けに、各コースにてリカレント科目を開講しています。履修に関心のある方は指導教員に相談してください。

キャリア科目を履修するまでの手順（修士課程・博士課程共通）

※IIDP開講のキャリア科目の科目コードは「LAC」で始まります。

1. 所属するコース等でのキャリア科目についての修了要件を確認

「大学院学修案内」より、「各コース等学修課程」で所属コース等の修了要件を確認

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2023/graduate/

2. どのようなキャリア科目が開講されているかを確認

- **IIDPが開講するキャリア科目**は、上記「大学院学修案内」の「教養科目群履修案内」のキャリア科目で確認できる。

→以下のIIDPのウェブサイトで、IIDPが開講するキャリア科目の時間割を確認可能。

（日）<https://www.titech.ac.jp/instwide-edu/students/life/career-education>

（英）<https://www.titech.ac.jp/english/instwide-edu/students/life/career-education>

- **所属コース等が開講するキャリア科目**は、上記「大学院学修案内」の「各コース等学修課程」の所属コース等で確認する。
- 各科目の講義内容、担当教員、日程などはシラバスを参照する。シラバスは、OCW（<http://www.ocw.titech.ac.jp/>）トップページで「講義検索」を行い、該当ページを探す。

3. 履修する科目を決めて履修申告

東工大ポータルにログインし、メニューから「教務Webシステム」を選択。履修科目を登録。

キャリア科目に関する問い合わせ先（修士課程・博士後期課程共通）

イノベーション人材養成機構（IIDP）



<https://www.titech.ac.jp/instwide-edu/students/life/career-education>

※大学HPトップページ→「在学生の方」→「授業・履修」→「キャリア教育プログラム」

iidpinfo@jim.titech.ac.jp

大学院課程入学者向けにキャリア科目概要や履修方法等を説明する
オリエンテーションを、9月28日（木）（予定）にオンライン
で実施します。

詳細は上記IIDPサイトをご確認ください！

9) 日本語・日本文化科目

- 日本語を学ぶ留学生のための科目です。大学院日本語科目には初級から上級前半までのクラスがあります。
- 日本語・日本文化科目の単位を取得することで、文系教養科目の単位とみなすことができます。博士後期課程も対象となります。
- 技能別のクラスでは、会話、漢字、ライティング、キャリア対策なども学べます。
- 受講には、日本語クラス予約システム（JCOS）にて、
 - アカウント登録
 - 日本語レベルテスト
 - 受講予約
 が必要です。

日本国内の大学（東工大を含む）の学部を卒業した学生等、開講科目よりも日本語能力が高い学生は、受講することができません。

Tokyo Tech Japanese Language and Culture Courses for Graduate Students						
Basic		Intermediate				Pre- Advanced
B1, B2	B3, B4	I1, I2	I3, I4	I5, I6	I7, I8	U1 ~ U8
REGULAR COURSE						
400Lv	400Lv	400Lv	400Lv	500Lv	500Lv	
Basic Japanese 1,2	Basic Japanese 3,4	Intermediate Japanese 1,2	Intermediate Japanese 3,4	Intermediate Japanese 5,6	Intermediate Japanese 7,8	
SPECIFIC SKILL COURSE		400Lv				
Japanese conversation		Pre-inter. 1,2				
		Inter. 1,2	Inter. 3,4			
Japanese kanji		Basic 1-4				
		Inter. 1,2				
			Inter. 3,4			
Japanese seminar				3~6, 9/10	1~10	1/2, 7~10
JAPANESE CULTURE COURSE		500Lv				
1: Strategic approach to Japanese and culture		2: Strategic approach to Japanese and culture		3/4: Multi-cultural collaboration		
Japanese culture and language 1, 2, 3, 4				(for registration only)		600Lv

※日本語・日本文化科目
の情報は下記URLへ

http://js.ila.titech.ac.jp/~web/japanese_j.html



10) 学位プログラムとして特別に設けた教育課程

1. リーダーシップ教育課程



リーダーシップ・エクセレンス教育
一人ひとりの中に、
リーダーシップという可能性がある。

学院の枠を超えて、精鋭たちが互いの視野を広げて学び合い、世界に通用する本物のリーダーシップを手にしていく場。

- ・ 歴史や世界の中で自己を認識し、内発的動機をみつけることができる
- ・ 自己と他者の違いを受け入れ、共に尊重し、よりよい社会のために協働できる
- ・ 常に挑戦する心を持ち、思った通りにならなくても、創造的に楽しむことができる

選択したコースにおける専門課程



リーダーシップ教育課程

リーダーシップ・フォーカス
認定証授与

ToTAL修了認定（学位記に付記）

卓越した専門力

博士（専門分野）
の学位

+

リーダーシップ
教育課程修了



リーダーシップ力

※リーダーシップ教育院が実施する修了審査に合格した上で、在籍する学院の学位審査・最終試験に合格すると、博士の学位とともにリーダーシップ教育課程の修了が認定され、学位記に付記されます。なお、博士の学位が認定されない場合は、リーダーシップ教育課程のみの修了は認められません。

1. リーダーシップ教育課程

カリキュラムの概要

説明会開催

10月12日（木）17:30 - 18:30

（英語開催/大岡山キャンパス南2号館S2-203およびZoom）

10月16日（月）17:30 - 18:30

（日本語開催/すすかけ台キャンパスJ2棟J2-305およびZoom）

※ 本教育院ウェブサイトで最新情報をご確認下さい。

修士課程から博士後期課程までの一貫教育を通じて、自らが専攻する分野における卓越した専門能力の獲得と並行して、将来の国際社会を牽引できるリーダーシップを備えた人材としての能力を養成するため、以下のとおり、5つの科目分類を設けて、体系的に能力の涵養を図ります。

必要単位数

01 幅広い教養

専門分野にとらわれない好奇心、他者との信頼関係の礎となる人格を磨く

2

02 社会課題の認知

社会課題を把握し、解決に向けて自身の能力をどう活かすかを認識する

3

03 グローバルコミュニケーション

語学力・スキル双方のコミュニケーション能力を身に付ける

3

04 リーダーシップ・フォロワーシップ養成, 合意形成

リーダーシップ・フォロワーシップの本質を理解し、合意形成力を磨く

4

05 オフキャンパスプロジェクト

自身の専門知識や能力を実社会で試し、さらに高める

4

博士後期課程学生に、授業料免除、オフキャンパスプロジェクト（海外・国内）実施費用の支援があります。（条件あり）

※2026年度以降の支援内容は調整中

修士課程までの履修でも登録できます。
所定の単位を得ると認定証「Leadership Focus Certificate」を授与します！

リーダーシップ教育課程に登録するには
選抜試験（書類選考・面接）への合格が求められます。



※詳細は…

リーダーシップ教育院（ToTAL）
<http://www.total.titech.ac.jp/>



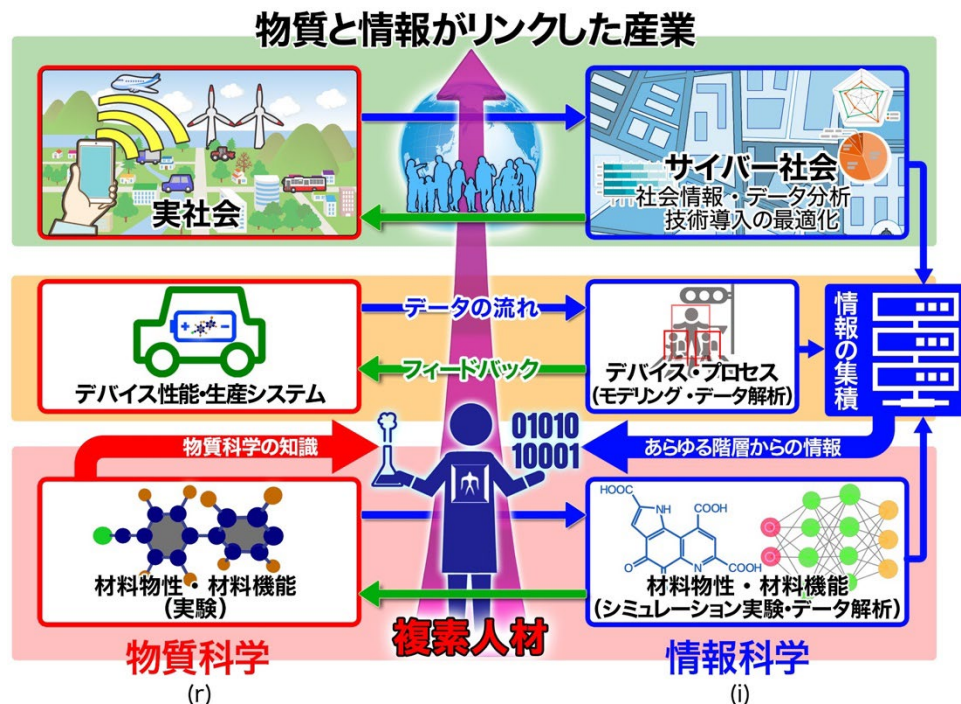
※上記の科目に加え、ToTAL中間審査までに「リーダーシップ道場」、「Introduction to Leadership」、「Global Leadership Practice」のいずれかを修得する必要があります。

2. 物質・情報卓越教育課程

① 教育課程の目的

修士博士一貫の大学院教育プログラムにより、物質と情報をリンクさせ、情報科学を駆使して複眼的・俯瞰的視点から発想することで、独創的な物質・情報研究を進める「複素人材」の育成を行います。

複素人材とは、物質科学、情報科学、そして社会サービスまで、すなわち「複素空間」で縦横無尽に活躍できる人材です。ここで言う「物質」とは、実社会における「モノ」を指し、単に化学・材料としての化合物にとどまらず、デバイス・プロセスも包含します。



「物質×情報」の知のプロフェッショナルを育成

② 教育課程の概要

複素人材が持つべき能力の涵養を目指して、以下の施策①-⑫を実施します。

(1) 独創力

- ① 演習重視の物質・情報講義
- ② 物質情報異分野特定課題研究（ラボ・ローテーション）
- ③ 自主設定論文による複素的な独創性教育

(2) 俯瞰力

- ④ 社会サービス創出講義
- ⑤ 未来社会サービス創出ワークショップ
- ⑥ 企業メンター制度

(3) 実行力

- ⑦ 企業の最先端課題を解決するプラクティススクール
- ⑧ 問題発見、問題解決の実行力を高めるための研究奨励制度

(4) 国際リーダーシップ力

- ⑨ リーダーシップ力涵養教育
- ⑩ 海外インターンシップ
- ⑪ 物質・情報教育国際フォーラム
- ⑫ 海外メンター制度による国際性涵養

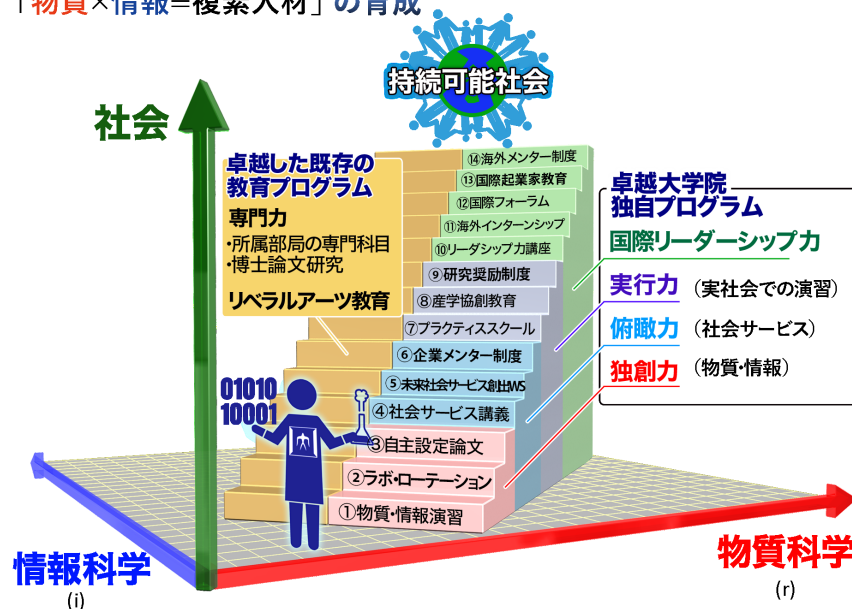


国際フォーラム



未来社会サービス創出ワークショップ

「物質×情報＝複素人材」の育成



「複素人材として育った博士」は世界で活躍するための登竜門です。
本教育院の会員企業は、登録学生の成長に注目しています。
登録学生は会員企業との就職マッチングサービスを活用することもできます。

③ 登録学生への支援

本教育院では、登録学生に生活費も含めた経済的支援を行い、研究や本教育院の活動に集中できる環境を整えます。

(1) 博士後期課程学生に対する経済的支援

- 本教育院博士後期課程に登録する学生に対し、TAC-MI 奨励金およびつばめ博士学生奨学金等により、最大253万円の経済支援があります。

(2) JSPS特別研究員(DC1, DC2)、国費留学生、

東工大高度人材育成博士フェローシップ・殻を破るぞ!越境型理工系博士人材育成の採用学生への経済的支援

- これらの経済支援に加えて、本教育院からもRA雇用による給与を支給します。

④ 登録学生選抜について

選抜試験の対象は、本学の修士課程に所属している全ての学院の学生です。毎年2回、7月と12月に募集します。

詳しくは、登録学生募集説明会にて説明します。

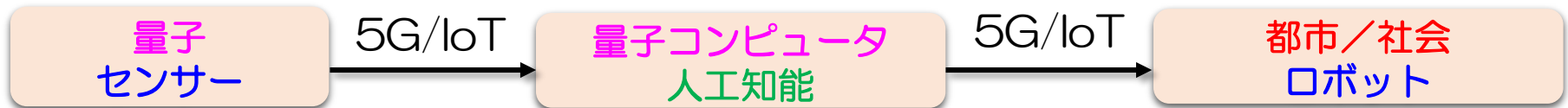
本教育院の特長や募集説明会の参加方法につきましては、物質・情報卓越教育院のホームページをご覧ください。



<https://www.tac-mi.titech.ac.jp/>

3. 超スマート社会卓越教育課程

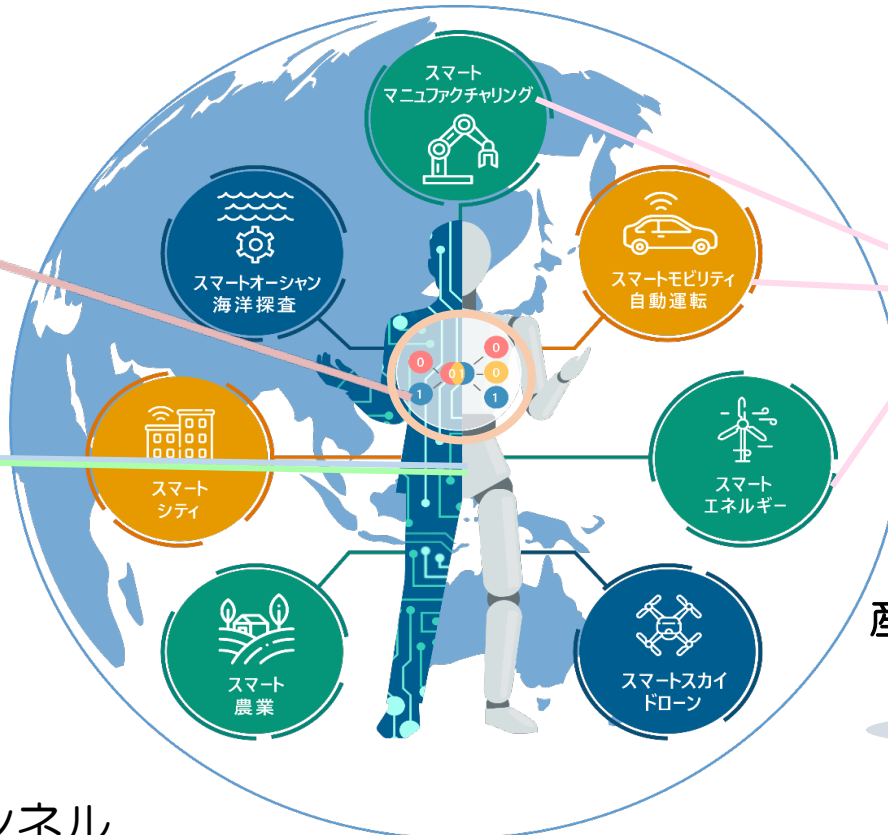
必須能力＝（サイバー空間技術＋フィジカル空間技術）×量子科学



量子科学と人工知能
の基幹的学力

フィジカル空間・
サイバー空間にまたがる
専門分野で独創的な
科学技術を創出

量子科学から
超スマート社会
までの道筋を俯瞰



異分野が融合した
社会課題の
解決能力

産官学の各セクター
を牽引できる
リーダーシップ力

公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCB6xyVu1TNB8xPSMt3v9VPQ>

社会連携教育(オープンエデュケーション)および 異分野融合研究(オープンイノベーション)の融合教育

SSS異分野融合マッチングワークショップ

企業や国研の方と意見交換することで新たな視点やアイデアを得ることができます。これを契機に異分野間の共同研究も生まれています。



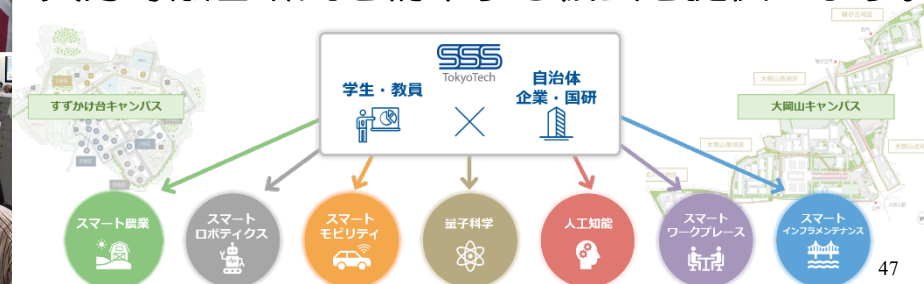
超スマート社会推進
コンソーシアム参画機関はこちら



異分野融合研究企画集中演習



最先端の科学技術を結集した超スマート社会教育研究フィールドを利用した演習を通して、異分野融合研究を構築する機会を提供します。



修了生の声

“SSS卓越教育院で研究者としてのチャンスをつかむ”

2019年11月のマッチングワークショップに参加したところDENSOとの共同研究が実現しました。研究テーマはV2Iで、自動車とインフラをどのように通信でつなぐかを課題として、2020年4月から2年間実施しました。こうした研究の成果が認められて、2022年4月からソニーグループ株式会社で働いています。



Dr. Yin Yue (工学院電気電子系 阪口研究室)

“グローバルオフキャンパス研究プロジェクトで将来を切り開く”



2022年9月から、WISE-SSSのグローバルオフキャンパス研究プロジェクトで、米ウィスコンシン大学マディソン校に留学しました。

修了後は、留学前からの希望通り、受け入れ先でポスドクとして研究を続けています。今後はさらに自分の専門力を向上させ、国際コミュニケーション能力やリーダーシップ能力も養っていきたいと思います。

野口 孝浩 博士 (工学) (工学院電気電子系 千葉研究室)

学生が経済的に自立し、勉学に集中できる環境を整えるための経済的支援制度があります。詳しくは超スマート社会卓越教育院Webサイトをご覧ください。

<https://www.wise-sss.titech.ac.jp/admissions/support/>



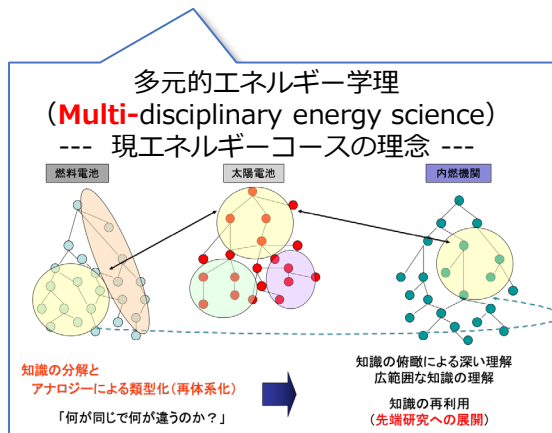
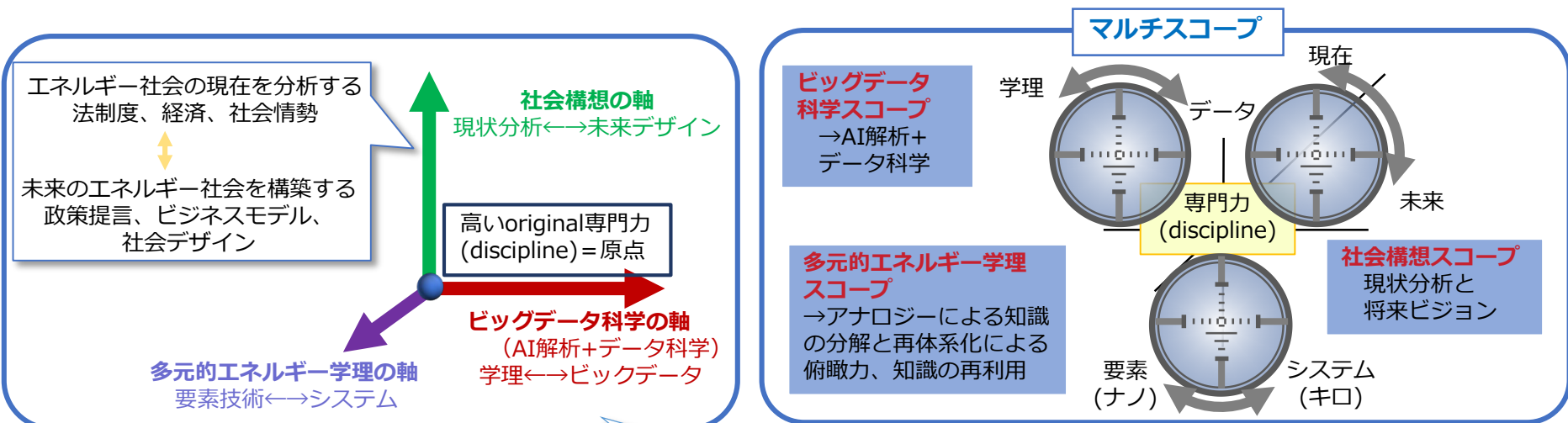
4. エネルギー・情報卓越教育課程

① 教育課程の目的

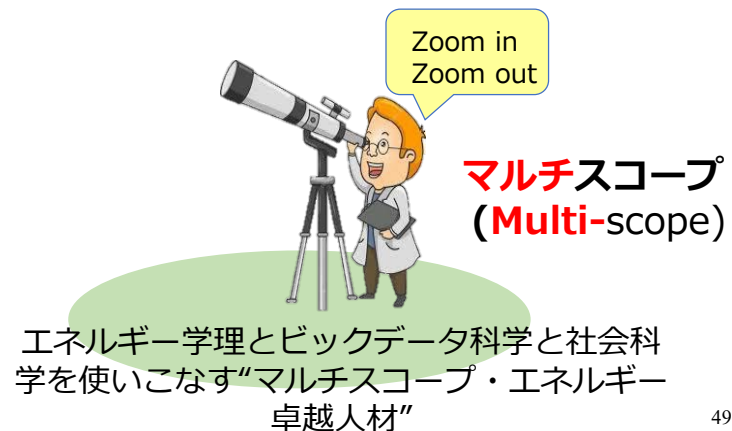
“**マルチスコープ・エネルギー卓越人材**”の育成

“**ビッグデータ科学**”（AI解析+データ科学）を活用した

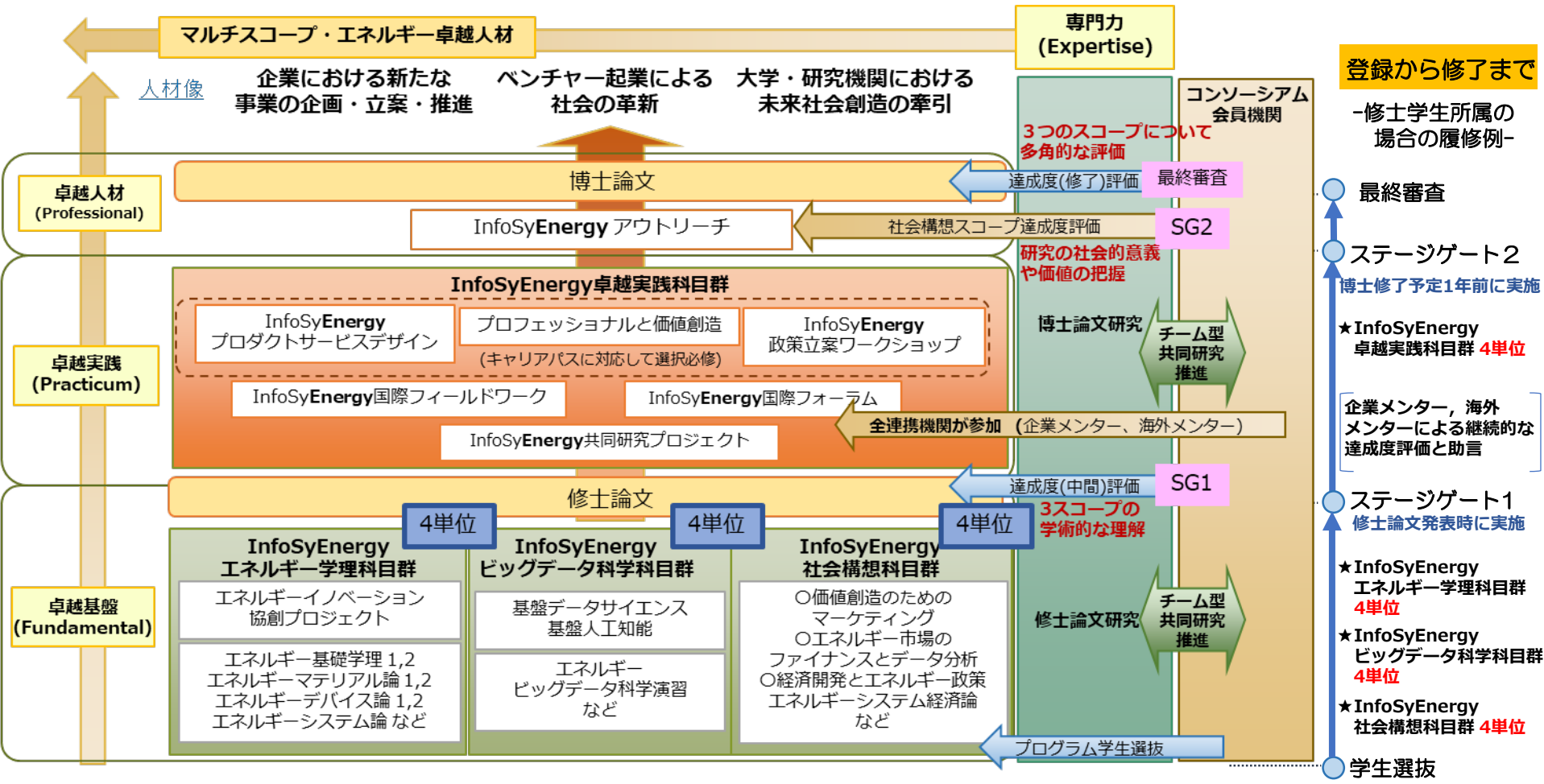
マルチスコープで新しいサステイナブルなエネルギー社会をデザインする人材



- ビッグデータの規則性から見出される学理
- 学理から理解されるビッグデータの規則性



② カリキュラム



③ 登録学生への経済的支援と学生選抜について

➤ 教育院学生への経済的支援

- 博士後期課程在学中、高い研究能力と将来性が認められた者に対して年間185万円を上限として支援を行います（奨励金）
（つばめ奨学金 4 万円/月、指導教員RA 20万円/年を含むと最大253万円/年）
- 「東工大InfoSyEnergy研究/教育コンソーシアム」により推進される企業との共同研究への学生の研究参画と経済支援を行います
- InfoSyEnergy 国際フィールドワーク・InfoSyEnergy共同研究プロジェクト（国内外の留学・派遣、企業等のインターンシップ）における旅費の一部支援
- InfoSyEnergy共同研究インセンティブ助成制度
（自ら主体的に実施する独創的な研究活動に対し研究費を助成）
- InfoSyEnergy国際フォーラム参加費用（旅費等）の支援

➤ 学生選抜について

対象は修士課程在籍中に第3-4Q開講の「エネルギーイノベーション協創プロジェクト」での本審査が可能な学生です。 ※選抜スケジュールはHPを必ずご確認ください

< 2 段階選抜 >

- ①登録候補学生選抜 年 2 回（春、秋）
- ②正規登録学生選抜（本審査） 年 1 回（秋～冬）

（登録候補学生として選抜された候補者の中から、正規登録学生となるための選抜）
詳細は日程が近くなりましたらHPに掲載致します。



各教育課程の説明会

※新型コロナウイルスの影響により、日程などが変更となる可能性があります。本教育院ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

1. リーダーシップ教育課程：

年2回（前学期、後学期）登録者を募集します。

2023年度後学期（第4クォーター）の登録募集に関する説明会は**10月12日（木）**、**10月16日（月）**を予定しています。

ご興味のある方は、ウェブサイトをご確認の上、以下の問合せ先にご連絡ください。

<http://www.total.titech.ac.jp/>

E-mail : total.jim@total.titech.ac.jp



2. 物質・情報卓越教育課程

年2回（春期、秋期）登録者を募集します。

2024年度春期登録学生募集説明会は**10月18日（水）**に開催を予定しています。

ご興味のある方は、ウェブサイトをご確認の上、以下の問合せ先にご連絡ください。

<https://www.tac-mi.titech.ac.jp/>

E-mail : tac-mi@jim.titech.ac.jp



各教育課程の説明会

3. 超スマート社会卓越教育課程

年2回（春期、秋期）登録者を募集します。2024年度春期登録向け学生募集説明会は
2023年10月18日（水）を予定しています。ご興味のある方は、ウェブサイトをご確認の上、以下の問合せ先にご連絡ください。

<https://www.wise-sss.titech.ac.jp/>

E-mail: wise-sss@jim.titech.ac.jp



4. エネルギー・情報卓越教育課程

年2回（春期、秋期）登録候補学生を募集します。

（登録学生となる為の選抜は、登録候補学生の中からの選抜のみとなります）

学生募集説明会の動画はウェブサイトですべてご覧頂けます。

10/11(水)により深く、ご質問にお答えする時間に重きを置いた「Q&Aセッション」を開催致します。詳細は、ウェブサイトをご確認下さい。

<https://www.infosyenergy.titech.ac.jp/Academy/>

E-mail : management_office@infosyenergy.titech.ac.jp



3つの卓越教育院の合同説明会

本学では、上記3つの卓越教育課程（物質・情報、超スマート社会、エネルギー・情報）を設置しており、3卓越教育課程の共通事項やそれぞれの特色を中心に、年1回（秋）合同で説明会を開催しています。2023年度は10月16日（月）に開催する予定です。参加をご希望の方は、各卓越教育院のウェブサイトよりお申込み下さい。

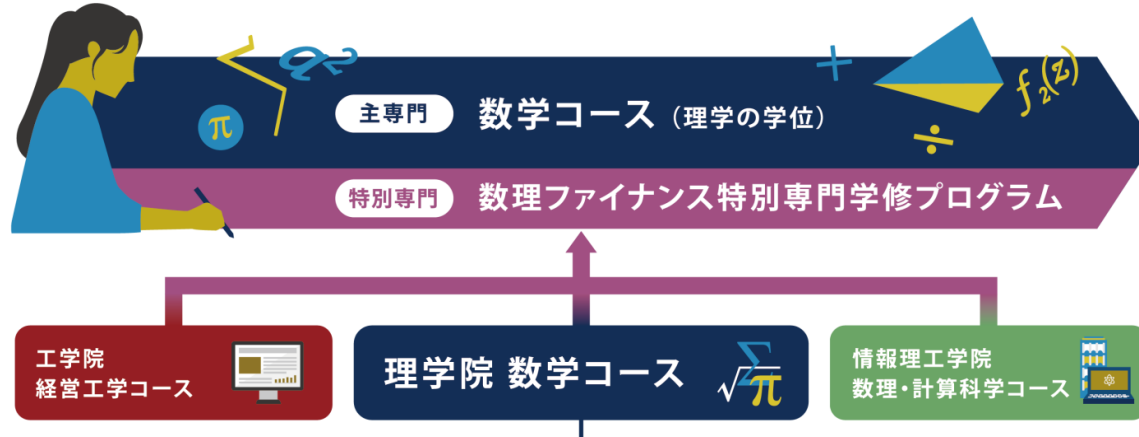
11) 副専門学修プログラム・特別専門学修プログラム

- 所属コースの専門分野の他に「副専門」「特別専門」として、他の分野を体系的に学修し、専門の幅を広げることが可能です。

・副専門学修プログラム（例）



・特別専門学修プログラム（例）



「数学の科目（主専門と同一）」と数学コースが「数理ファイナンスのために開講する科目」を履修します。

12) 修士課程から博士後期課程への進学

学内からの進学

※大学院進学関係事務日程

<https://www.titech.ac.jp/student/students/procedures/applying>

検定料：なし 入学料：なし



(4月進学)

1 1月上旬：進学願書配布開始

@【大岡山】教務課大学院グループ窓口

@【すすかけ台】教務課すすかけ台教務グループ窓口

1 2月上旬：進学願書提出締切

1 2月～2月：進学試験実施

内容は志望先による。

※外国語試験についても志望先によって異なるため大学院学修案内を参照のこと。

3月中旬：進学者決定

13) 経済的支援

1. TA・RA制度

<http://www.jinjika.jim.titech.ac.jp/syoku/index.html>



RA（リサーチアシスタント） ……研究実験の補助など、研究にかかわる業務補助を行う学生

TA（ティーチングアシスタント）…教育や授業の補助・準備など、教育にかかわる業務補助を行う学生

※大学から時間単価の給与を受け取ることができます。ただし勤務時間に上限あり。

2. 入学料・授業料の徴収猶予・免除

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/exemptions>



課程	入学料	授業料(半期)	授業料(年間)
修士・博士後期課程 (2019年9月以降の入学者)	282,000円	317,700円	635,400円

入学料：入学料を半額免除、徴収猶予できる制度です。

- ※ 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業成績等が優秀と認められる者。（学内進学者は入学料無し）
- ※ 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた者

授業料：授業料の全額か半額を免除、もしくは徴収猶予できる制度です。

- ※ 上記条件と同様

詳細はホームページ
をご確認ください

3. 奨学金

(1) 日本学生支援機構（JASSO）

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/jasso>



日本人学生、永住者等の外国人学生を対象とした、本学の約2割の学生が利用している我が国最大の貸与奨学金です。

第一種奨学金は無利子、第二種奨学金は有利子となっています。

種類		貸与月額
第一種奨学金 （無利子）	修士	5万円、8.8万円から選択
	博士	8万円、12.2万円から選択
第二種奨学金（有利子）		5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

(2) 民間財団等奨学金について(日本人学生向け)

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/financial-aid>



大学の推薦なしで直接申請できる奨学金と、大学からの推薦を必要とする奨学金の2種類があります。地方公共団体の奨学金は、主に貸与奨学金（返還必要・無利子）であり、民間財団の奨学金は、給与奨学金（返還不要）と貸与奨学金（返還必要・多くが無利子）の2種類に分かれます。

(3) 私費外国人留学生用奨学金

<https://www.titech.ac.jp/students/tuition/scholarships>

民間の財団等での奨学金があります。



(4) 東工大基金奨学金

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/giving-scholarships>

1) 『青木朗記念奨学金』

対象：修士課程1年次の者（4月現在） ※所得条件あり

採用予定人数：3名 奨学金の額：月額5万円

2) 『高砂熱学工業創立100周年記念奨学金』

対象：修士課程1年次の者（4月現在） 革新的環境イノベーションに挑戦し、
新しい価値創造・社会貢献をしようとしている者

採用予定人数：3名 奨学金の額：月額5万円

3) 『草間秀俊記念奨学金』

対象：博士課程1年次の者（4月現在） ※所得条件あり

採用予定人数：2名 奨学金の額：月額6万円



(5) 東京工業大学 つばめ博士学生奨学金

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/tsubame-scholarship>

対象：博士課程の者（2023年度現在） ※条件あり

奨学金の額：年額48万円

（2年次以降 年額48万円又は年額63.54万円）



14) 日本学術振興会特別研究員

制度の概要

「特別研究員(DC)」の制度は、大学院博士課程在学者で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金（月額20万円）を支給する制度です。

また、特別研究員採用者は、申請書と併せて提出する研究計画調書に基づき、採用期間中、原則全員が年間100万円前後の研究費を受給できます。採択率は過去3年平均20～25%程度です。

対象者・・・各採用年度の4月1日時点で大学院博士課程に在学している者（予定含む）です。

応募時期・・・採用年度の1年前の3～6月ごろです。
2024年2月中旬から募集が始まるのは、
2025年度採用分（2025.4.1採用開始）です。

応募区分

DC1

応募区分は2種類、DC1とDC2です。

DC2

基本的に、DC2は応募時に博士課程に入学済みの方、

DC1は応募時には博士課程に進学「予定」の方が対象です。

つまり、DC1にはM2の時期に応募することがほとんどです。

※入学時期によっては上記に当てはまらない場合もあります。

DC1とDC2の違いは主に下記の点です。

- ≫ 応募区分 . . . 上記のとおり
- ≫ 審査区分 . . . 申請する資格（DC1またはDC2）毎に審査
- ≫ 採用期間 . . . DC1は3年間、DC2は2年間

研究奨励金の額など待遇に差はありません。

● 研究奨励金と特別研究員奨励費

研究奨励金

研究奨励金は、特別研究員に採用された方が貰える月々の給与のようなものです。
DC1、DC2ともに月額20万円が支給されます。研究奨励金の用途は自由です。

特別研究員奨励費

特別研究員奨励費は、特別研究員に採択された方のみが応募できる科研費の一種です。
採用期間中、**年度ごとに100万円前後の研究費が受給**できます。
研究のための補助金ですので、自身の研究遂行のためにしか使用できません。
特別研究員に採用された方は基本的に全員受給できますが、**応募時に提出する研究計画調書の内容を審査され受給額が決定**します。

特別研究員(DC)に採用されると、月額20万円の自由に使用できるお金と、年間100万円前後の研究費が受給できます。従事できないアルバイト等もあるので、遵守事項を確認の上、採用までに適宜手続きをする必要があります。また、日本学生支援機構や国費奨学金、つばめ奨学金など国費を原資に含む奨学金は受給できません。

● 特別研究員DCのキャリアパス

採用後の就職状況について

日本学術振興会のWebページに就職状況調査が掲載されています。

http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_syusyoku.html



《学振の調査結果より》（令和4(2022)年4月1日現在）

日本学術振興会特別研究員-DCは、採用期間終了5年経過後調査では、68.4%が「常勤の研究職」に就いており、我が国の研究者の養成・確保の中核的な役割を果たしている。

● 特別研究員DC応募スケジュール

次回の募集は2025年度採用分です。

募集要項が未公開のため、例年のスケジュール通りと仮定して掲載します。

2024年2月上旬	募集開始（募集要項等の公開）
2024年4月中旬	電子申請システムで申請書受付開始
2024年6月初旬	日本学術振興会への申請書提出締切
2024年10月	一次結果開示（採用内定、二次候補、不採用） → 二次候補となった方のみ二次選考へ
2025年1月	二次結果開示（採用内定、不採用、補欠）
2025年2月	補欠繰上結果開示
2025年4月1日	採用開始

- 東工大では、例年3月上旬に応募者向けの説明会を開催しています。（Zoom開催予定）
次スライドでご案内するHPやSlackによる情報提供（予定）またはメール配信
（j-fellow@jim.titech.ac.jp）をご確認ください。
- 過去に学振特別研究員に採用された方のご厚意で提供いただいた**申請書の閲覧サービス**を行っております。＜閲覧のみ、複写不可＞ 閲覧をされる場合はメールにて希望日時（30分）をご連絡ください。

● 日本学術振興会特別研究員 参考情報

東京工業大学 日本学術振興会 特別研究員

http://www.rpd.titech.ac.jp/jsps_tokken/index.html

日本学術振興会

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>



事務局3号館

問い合わせ先

東京工業大学 研究推進部 研究資金支援課 研究資金助成グループ

事務室：事務局3号館2階

（大岡山キャンパス正門から学内セブンイレブンに向かって直進、左側、
検収センターの一つ先隣の建物）

メール：j-fellow@jim.titech.ac.jp

TEL：03-5734-3806（内線3806、7221）

15) 海外留学

● Taki Plaza B1階で留学に関する情報を集めよう

留学情報館（Taki Plaza B1階）では、留学関連資料を閲覧できます。また、募集中の留学プログラムや留学奨学金について案内しています。

➤ 留学コンシェルジュ（留学相談担当）に個別相談してみよう。

海外派遣業務に関わっている海外経験豊富な教職員が皆さんの相談に応じます。例えば次のような悩みがあるときは、留学コンシェルジュにご相談ください。

- 留学をしたいけど何から始めていいかわからない
- 留学プログラムが沢山あり、どのプログラムが自分に合っているかわからない

➤ 相談方法

- 対面、Zoom、メールでの相談を選べます。

東工大HP、留学情報館・留学コンシェルジュページの申し込みフォーム→から予約してください。

<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/information-consultation>

留学情報館



留学イベントに参加しよう！

年に一度の**留学フェア**と、定期的に関催する**留学座談会**で東工大生のための留学最新情報をお伝えしています。東工大の国際教育から各留学プログラムの募集情報にいたるまで、東工大オリジナルイベントになっています。漠然と留学に興味のある人から、留学を真剣に考えている人まで、みなさんお気軽にご参加ください！

最新情報はこちら→ <https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/events>



16) 語学学修

➤ 外国語学修相談室 <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/advisory.html>

外国語の授業でもっといい成績をとりたい、自分でできる外国語の勉強法を知りたい、留学のためにどんな準備をすべきか知りたいなど、外国語の学修に関することなら何でも相談できます（英・独・仏・中・露・西）。

- ・ 開室時間 時間はウェブサイトでご確認ください。
- ・ 担当者 リベラルアーツ研究教育院外国語セクションの専任教員



➤ Open English Office Hours <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/office.html>

英加出身の講師が、英語学習に関わるさまざまな相談に応じています。一対一または少人数での会話ができ、リスニング、スピーキングの練習をするつもりで利用できます。

- ・ 詳細はウェブサイトでご確認下さい。



➤ 外国語学修資料室 <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/resource.html>

外国語学習用に各種語学教材（英・独・仏・中・露・西・その他）の閲覧・貸出を行っています。

- ・ 場所 西3号館7階701号室
- ・ 開室時間 時間はウェブサイトでご確認ください。
- ・ 貸出 1人2冊まで 2週間



17) 国際交流・留学生支援

➤ 留学生による多言語チャット

ネイティブの留学生と英語、韓国語、中国語などの言語やその文化に関するフリートークができる定期的なセッションです。勉強している方はもちろん、これから勉強してみたい方、母語で話したい留学生の方も大歓迎です。

➤ 留学生による留学生ヘルプデスク

留学生の在校生が自分の経験に基づいて、学生生活についてアドバイスしたり、質問に答えたりしてくれます。お昼休みの時間帯を利用して、Taki Plaza 地下1階Global Loungeで定期的に行っています。お気軽にご利用ください。

https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge#International_Exchange



※ポスターは2023年度前期のもので。

➤ Global Lounge

Taki Plaza B1階にあるGlobal Loungeは、国際交流を目的とした場所です。多言語チャット、各国文化紹介の展示など、学生同士の交流を促す企画を通して、さまざまな国籍の人とのつながりを作ることができます。

- 普段はラウンジとして自由に使えます。（飲食はできません。）
- テレビで英語のニュース番組が常時流れています。また、洋雑誌の閲覧もできます。

※オープン時間はTaki Plazaの開館時間に準じます。

Global Lounge (Taki Plaza B1階)
<https://takiplaza.gakumu.titech.ac.jp>



➤ アートセミナー

学生支援センター未来人材育成部門では、理工系学生の創造性を育むことを目的として、毎年春と秋の年2回アートセミナーを実施しています。セミナーは英語・日本語の併用で行われるため、多様な背景を持つ学生たちの交流を実現しています。



18) にほんご相談室 Nihongo Space

日本語学習に関するアドバイス、フリートーク、文章添削など様々な要望にお応えします。



日時：毎週水曜日と木曜日 12:40-14:00

場所：大岡山キャンパス西1号館留学生ラウンジ

- 会話練習

本学学生（ランゲージパートナー）と一緒に日本語の会話練習を行います。

- 個人チュートリアル

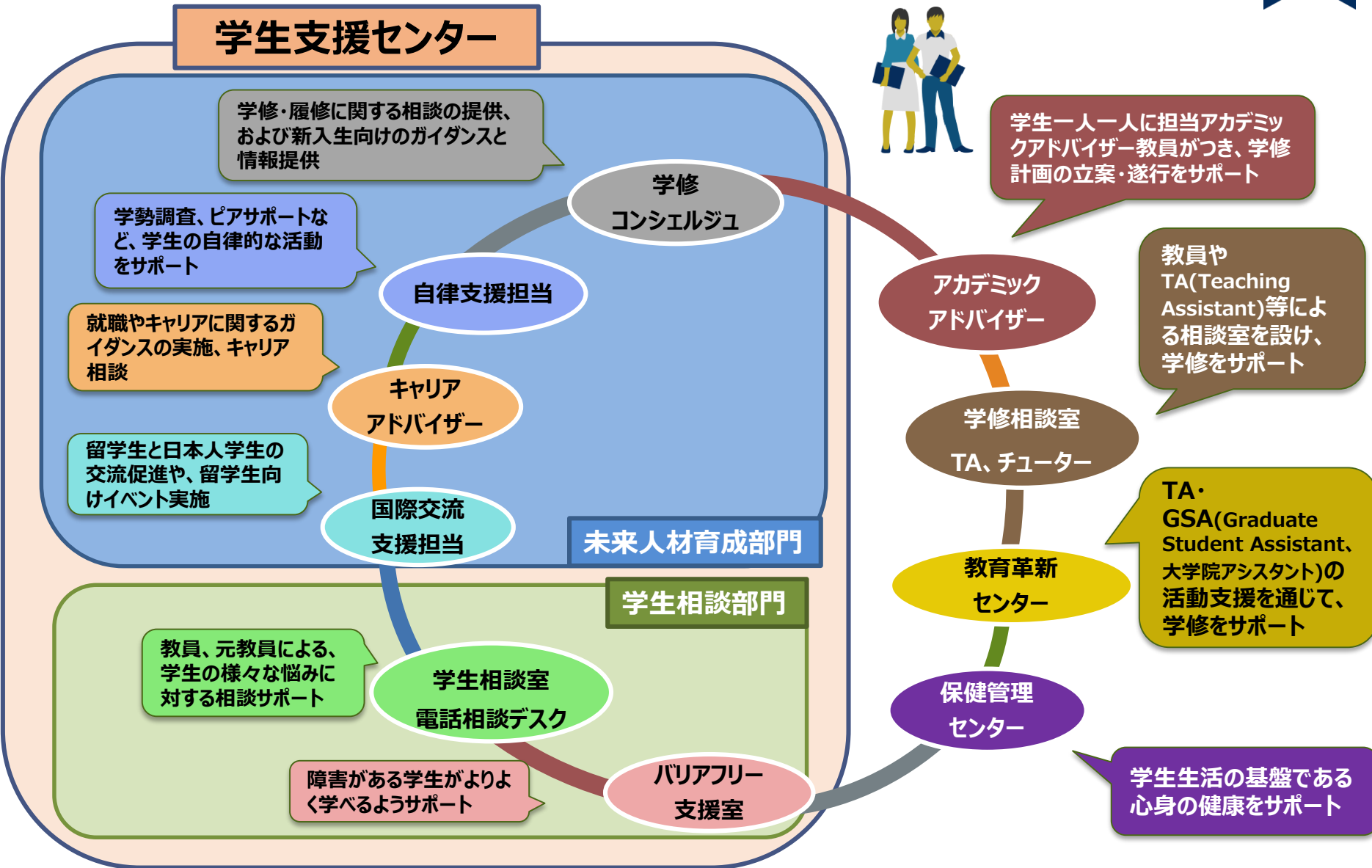
日本語教員に日本語の文章をみてもらうことができます。また日本語の勉強の仕方についても相談できます。

※にほんご相談室の詳細は下記URLへ。

https://js.ila.titech.ac.jp/~web/nspace_j.html

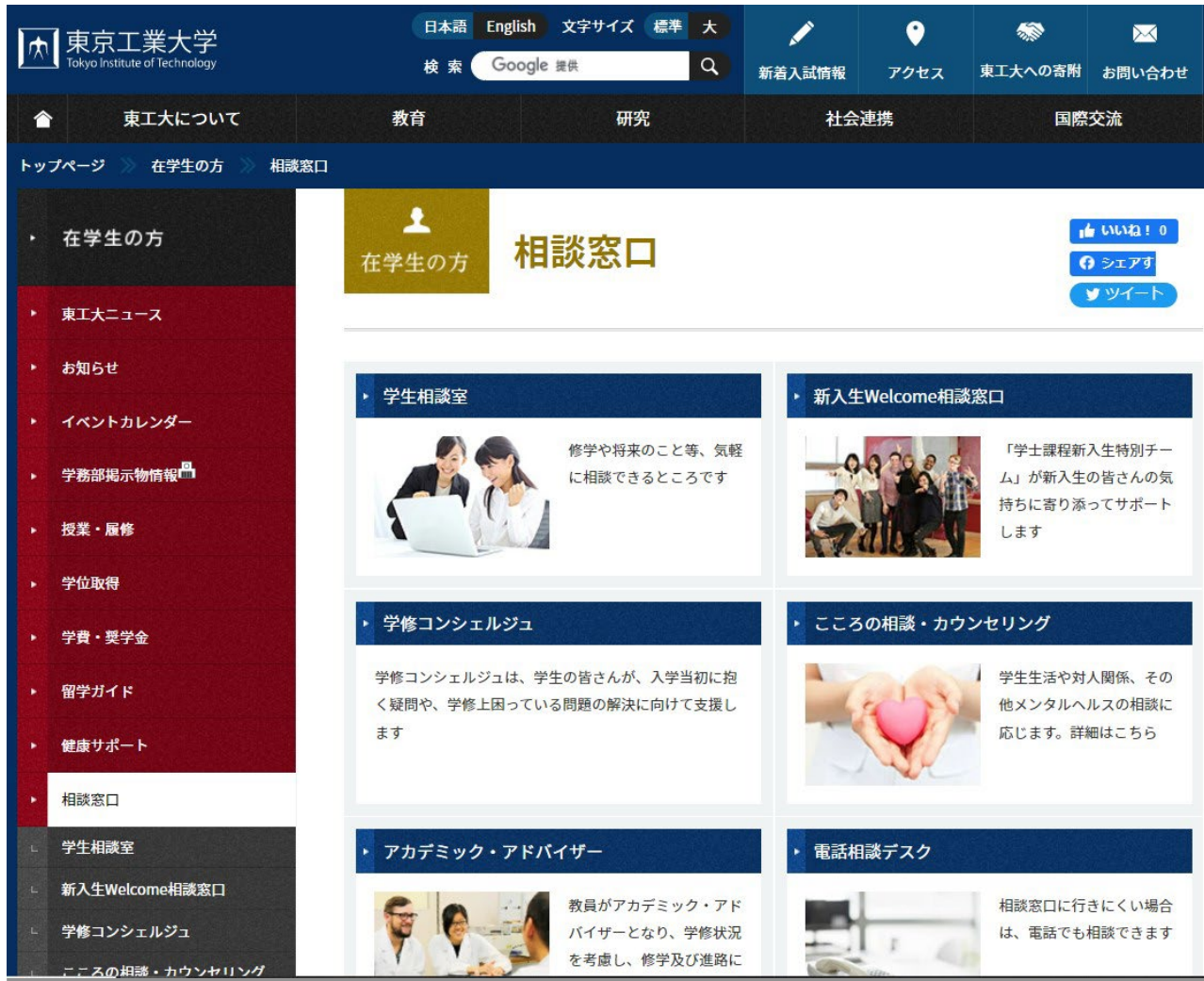


19) 支援体制・相談窓口



一人で悩んでも解決しない問題も多々あります。抱えている悩み事に応じて窓口を選び、ぜひ誰かに相談してみてください。

相談窓口の利用情報は、大学HPの下記ページで確認できます。



The screenshot shows the Tokyo Institute of Technology (Tokyo Tech) website. The header includes the university logo, language options (日本語, English), text size settings, and navigation links for new student information, access, contact, and inquiries. The main navigation bar lists various university functions. The left sidebar contains a list of links, with '相談窓口' (Consultation Window) highlighted. The main content area is titled '相談窓口' (Consultation Window) and features several sections: '学生相談室' (Student Consultation Room), '新生Welcome相談窓口' (New Student Welcome Consultation Window), '学修コンシェルジュ' (Academic Counselor), 'こころの相談・カウンセリング' (Heart-to-Heart Consultation/Counseling), 'アカデミック・アドバイザー' (Academic Advisor), and '電話相談デスク' (Phone Consultation Desk). Each section includes a brief description of the service and a small image.



このQRコードからページへアクセスしてください。

20) 附属図書館

- 図書館をうまく活用できるよう、本格的に研究をはじめる大学院課程進学のタイミングで、図書館WEBサイトをぜひご覧ください。学士課程から東工大生という人も、この機会におさらいしてみてください。

<https://www.libra.titech.ac.jp/>



- 大岡山図書館には、グループ学習や研究発表に利用できるグループ研究室があります。すすかけ台図書館には、ひとりで集中できるブースや、オンラインミーティング等に活用できる個室があります。

https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/group_study



https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/seminar_room



➤ 講習会・セミナー

データベースの利用講習会を開催します。

※過去にオンラインで開催された講習会セミナーの一部は、
図書館ウェブサイトで閲覧できます。

<https://www.libra.titech.ac.jp/seminars>



➤ 電子資料の利用

東工大で利用できる電子資料をまとめました。SSL-VPN
経由で学外からもアクセスできます。ぜひご活用ください。

<https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/electronic>



➤ 文献収集などで困ったときは、こちらへご相談ください。

<https://request.libra.titech.ac.jp/cgi-bin/request/ask/ask.cgi?ulang=jpn>



21) リベラルアーツ図書室

- 貴重な人文科学系の書籍や資料からリベラルアーツ研究教育院教員の著書、最近の文芸書、辞典など約27,000冊を所蔵しており、一部を除いて閲覧、貸出が可能です。
- 国内外の名作映画など様々な分野のDVD、Blu-rayを約600作品そろえており、図書室内で視聴できるほか、一部は貸出もしています。
- 読書や自習スペースとしてもご活用ください。飲み物の持ち込み可能で、キャンパス無線LANをご利用できます。
- 場所：大岡山キャンパス 西9号館E棟1階114号室
- 開室日時：月・金曜日 10:30~17:00
火・水・木曜日 10:00~17:00

(祝日・年末年始を除く)

URL : <http://libra.ila.titech.ac.jp>



Twitter : @TokyoTechILALib



22) オンライン教育：MOOC

(Massive Open Online Course)

- MOOCは、誰でも受講することができるインターネット授業です。世界中の950を超える大学から19400以上の授業が公開されています。
- 英語で発信している授業が多数あり、また英語の字幕もあるため、英語の勉強にも役立ちます。
- 東工大も大隅栄誉教授のMOOCなど、17のMOOCを公開しています。MOOCを開発するにあたって、大学院生の皆さんにTAとして活躍してもらっています。
- 詳しくは、教育革新センターのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.oedo.citl.titech.ac.jp/>



23) 起業への支援

➤アントレプレナーシップ育成プログラム（教育プログラム）

- ・アントレプレナーシップ（起業家精神）を身につけ、体系的にステップアップしたい人、実践プログラムで社会に価値を定着させる体験をしてみたい人、そして「やりたい」ことを明確に持ち、社会事業・ビジネスを始めたい人まで、どのカテゴリーにも対応できるプログラム（履修科目 およびイベント）が提供されています。



<https://www.titech.ac.jp/O/students/entrepreneurship>

＊来年度以降、全学的にアントレプレナーシップ教育を展開すべく、現在、その準備が進められています。

➤学生向け起業支援

- ・ビジネスコンテスト、STARTech(実践型起業塾)、Go startup(起業相談室)などの起業・ベンチャーへのスタートアップ支援や、起業に興味を持っている方への活動場所（INDEST）がイノベーションデザイン機構により提供されています。



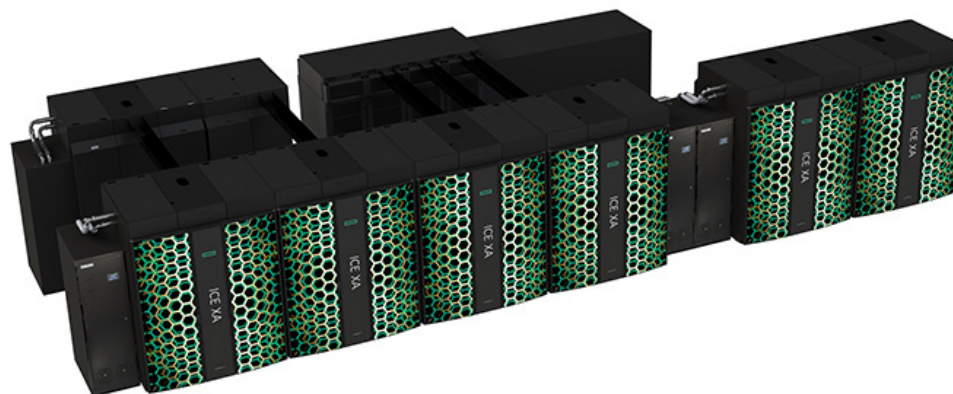
起業支援：<https://www.idp.ori.titech.ac.jp/campus/>

活動場所：<https://www.idp.ori.titech.ac.jp/indest/top/>

24) TSUBAME計算サービス

- TSUBAMEは、学術国際情報センターが2006年より運用しているクラスタ型スーパーコンピュータです。
- 2017年8月から稼働を開始したTSUBAME3.0は、ビッグデータ・人工知能の分野での活用も想定した設計になっており、国内有数の規模を誇るスーパーコンピュータです。
Green500 List（2017年6月版）においては、省エネ世界1位に認定され、この計算能力は学生にも広く開放しています。

<https://www.t3.gsic.titech.ac.jp/getting-account>



25) 東工大同窓会による支援活動

➤ 蔵前工業会による支援活動 <http://www.kuramae.ne.jp/>



- 学生分科会
(在学生がメンバーとなって、蔵前ジャーナル（蔵前工業会会誌）の企画などを担当）
- 蔵前立志セミナー&蔵前ゼミ
(OBによる講演会・講義、大岡山とすすかけ台で開催)
- 東工大基金への募金活動及び学生支援
- くらまえアドバイザー（OB）による就職活動支援
- 学修コンシェルジュによる新入生ガイダンス

➤ 学科別同窓会による支援活動

- 学科別同窓会：18同窓会
- 支援内容：講演、就職活動支援他

➤ 研究室同窓会

➤ サークル同窓会

26) Taki Plazaでの学生交流

2020年11月誕生！

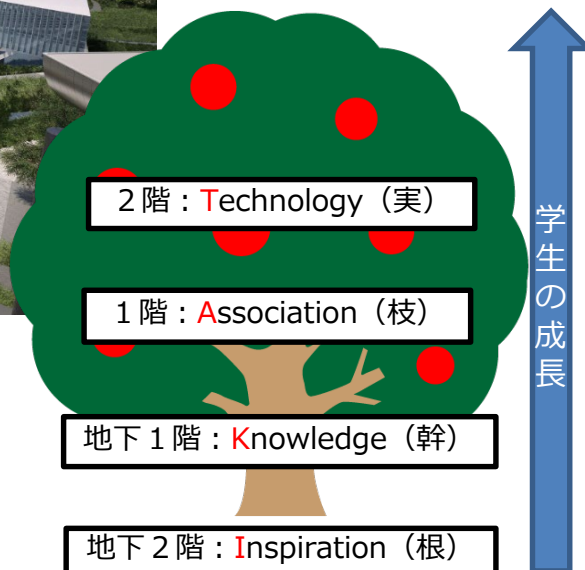
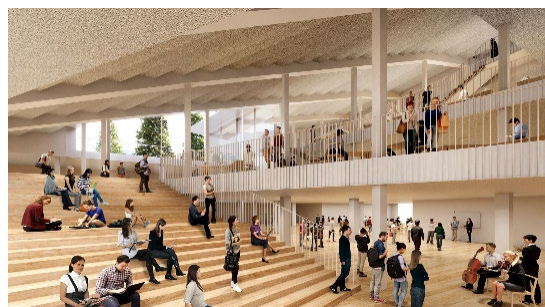
大岡山キャンパスの図書館前に新しく完成した学生交流施設で、
さまざまな活動に参加していきましょう！

建物コンセプト：外国人学生と日本人学生がここで出会い、絆を深め、
共にまだ見ぬ未来を生み出そう。



Taki Plaza ウェブサイト

[トップページ](#) > [在学生向け](#) > [施設利用](#) > Taki Plaza



2階：クリエイティブスペース

志を持った学生が集まり、学生の創る
アイデア（技術）が「実」を結ぶ場。

1階：カフェ、パブリックアート

外の世界へとつながり「枝」を広げる場。

地下1階：留学・就職・学修情報エリア

知識を蓄積し、世界へ羽ばたくための
「幹」を強化する場。1on1ピアチュータ
リング（理工系科目、語学、ライティング等）を実施。

ポイント：「留学生支援の強化」

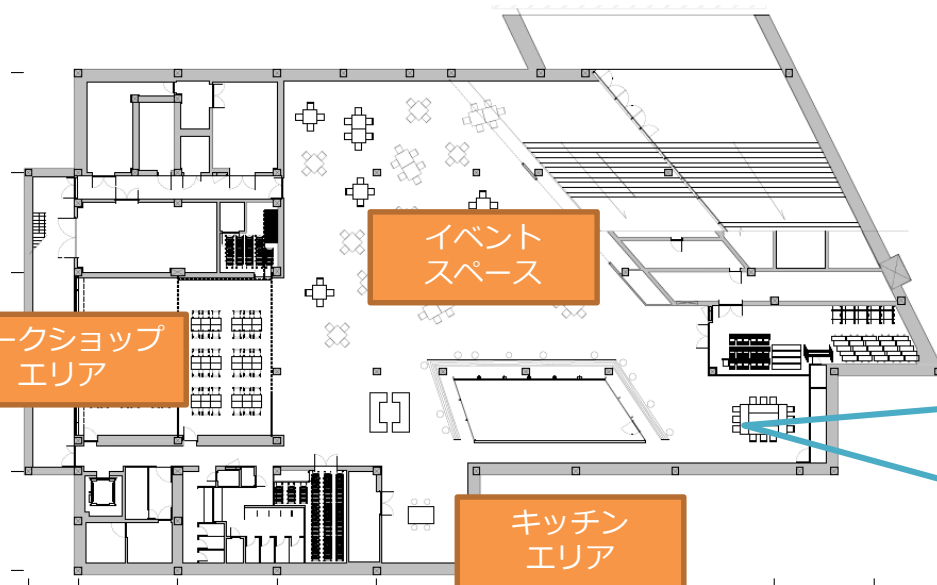
「学生同士の学び合い促進」

地下2階：イベントスペース

仲間との交流を通じて、「根」より
原動力となる“ひらめき”を得る場。

※ 1階、地下1階に学務部学生対応窓口を集約し、
ワンストップサービスを実現。

地下2階



イベントスペースでは、日本人と留学生の交流イベントや学生企画の様々なイベントを開催しています！

キッチンでは、留学生に母国の料理を教えてもらえるかも？

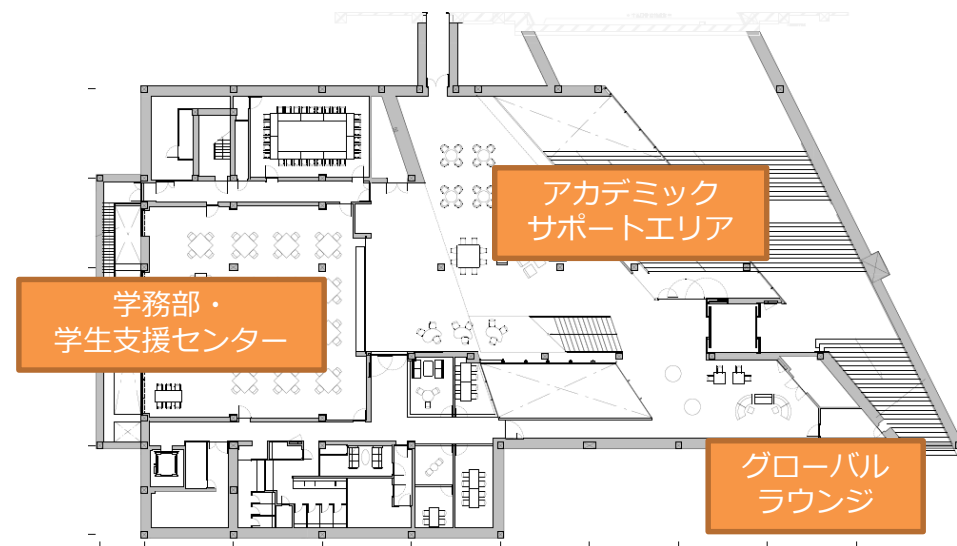


TPG居室

ここはTaki Plazaを学生目線で活用する学生団体Taki Plaza Gardener (TPG)の居室です！

イベント開催やコミュニティづくり、フリーペーパーの発行等、Taki Plazaに関するあらゆることを考え、実行しています！

地下1階

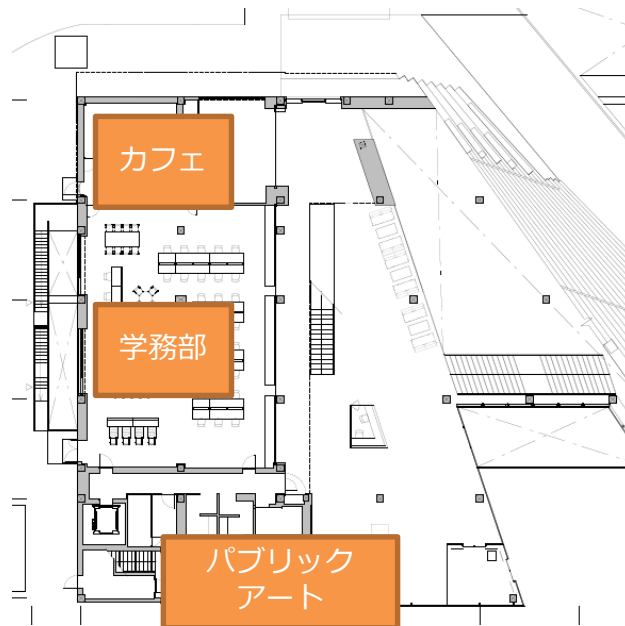


アカデミックサポートエリアには、留学や学修、就職情報コーナーがあり、各種コンシェルジュが相談にのってくれます！

グローバルラウンジは、海外放送が流れ、留学生が集うスペースです。

留学関係、課外活動、保険（学研災/学研賠）、学生寮、キャリア相談等の窓口があります。

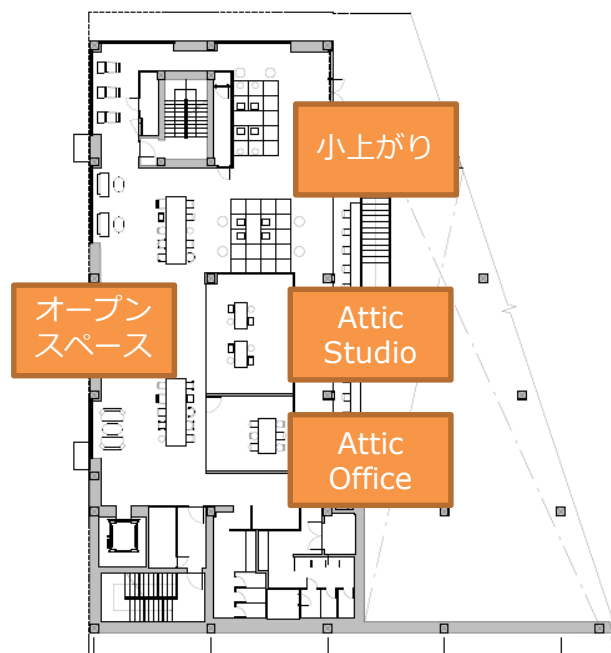
1 階



正門側の入口には「AKIRA」で有名な漫画家の大友克洋氏の巨大アート、ウッドデッキ側にはカフェがあります！

教務関係、経済支援の窓口があります。

2 階



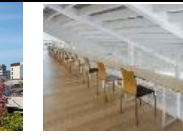
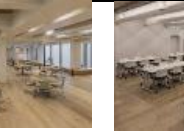
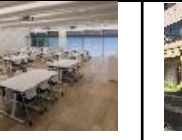
ものづくりルームがあり、アイデアを形にすることができるオープンなスペースです。

小上がりのデザインや家具の選定も東工大生が行いました！

27) 大岡山キャンパスの自習スペース



授業終了後、自習用に学内の各地区の講義室を開放しています。（★印：グループ学修可）

講義室	東地区(中庭講義室)			西地区		南地区	石川台地区	緑ヶ丘地区
	H102	★H103	H104	W832	W834	S421	I311	M321
写真								
利用時間	【月～金】18:05～19:45 ※土日祝日・試験期間中・授業期間外を除く			【月～金】18:05～19:45 ※土日祝日・試験期間中・授業期間外を除く				
席数	48席	96席	48席	39席	61席	102席	66席	48席
共用施設	東地区	東地区		東地区		西地区		
	★附属図書館	★Taki Plaza 2階 (階段脇の長机)		★Taki Plaza B2階		★リベラルアーツ 図書室		
写真								
利用時間	HP参照	【月～金】 8:30～21:00 【土・日・祝】9:00～20:00		【月～金】 8:30～21:00 【土・日・祝】9:00～20:00 ※イベント時は使用不可		HP参照		

自習・グループ学修室の詳細はウェブページ（在学生向け＞施設利用）をご確認ください。
<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/facilities/study-room>

28) 今のうちにやっておきたいこと

1. 所属コースのオリエンテーション、および文系教養科目、キャリア科目などのオリエンテーションに必ず参加する
2. 大学院学修案内（ウェブ上にある）を熟読する
 - 共通部分及び自分が所属するコースの部分を熟読し、修了要件を明確に理解した上で、履修計画を立てる（いつ、どの科目を履修するか）。研究計画との関係もあるので、履修計画は指導教員にも相談する。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/life/resources/>
3. 履修したい授業について調べる、興味がある授業は初回授業に参加するようスケジュールを組む
 - シラバスで授業内容を確認する。

<http://www.ocw.titech.ac.jp/>
4. 副専門学修プログラムや特別専門学修プログラムについて調べる
 - 大学院学修案内の「Ⅵ 特別専門学修プログラム履修案内」、
「Ⅶ 副専門学修プログラム履修案内」で、興味のあるプログラムの履修方法や修了要件について調べる。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/life/resources/>



5. 将来について考える

- 就職、博士後期課程進学などの将来の選択肢について考えつつ、在学中の活動計画（研究、科目の履修、留学、インターンシップなど）を立てる。
- 就職、キャリアについては、キャリア相談窓口のキャリアアドバイザーと個人相談を予約して考えてみるのも良い。
<http://www.titech.ac.jp/enrolled/career/counseling.html>



6. 留学情報に触れ、留学の可能性について考える

- 留学案内ウェブページ「留学ガイド」を覗いてみる。どのような留学の仕方があるか、留学に向けて何を準備したらよいのかなど、留学に少しでも興味があるなら一通り目を通しておくと良い。さらに留学プログラム検索で参加したいプログラムに目星をつけておくと、学修計画も立てやすい。



<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad>

- 「国際交流メールニュース」に登録する。留学プログラムや留学奨学金の募集などに関する最新情報が不定期に配信される。登録はオンラインフォームから約1分で完了。

https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/845851?lang=ja&_gl=1*1t4q1vq*_ga*MjAwMjgyMjYzNy4xNjlxOTI0Njly*_ga_VKBJ61GEPE*MTY1NTQzNTM3Ni45MTguMS4xNjU1NDM1NDQ2LjA



29) 修士課程2年間の主なスケジュール（概要）

※2022年度のスケジュールを基に作成していますので、正式なスケジュールは各自で確認してください。

M1										
4月	5月	6月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・入学式 ・第1第2 クォーター 履修申告 ・K-Meet II (蔵前工業 会主催の合 同企業説明 会)	・インターン シップガイ ダンス ・業界勉強会 ・研究型のインターンシップに 参加	・第1クォ ーター期末 試験・補講	・第2クォ ーター期末 試験・補講	・第3,4 クォーター 履修申告 ・短期留学 ・秋のキャリア ガイダンス		・第3 クォーター 期末試験・ 補講 ・留学生就 職ガイダンス	・就職対策講座 ・K-find (蔵前工業 会主催の企 業研究会)	・第4クォ ーター期末試 験・補講		・就職活動 解禁 ・K-Meet (蔵前工業 会主催の合 同企業説明 会)

M2										
4月	5月	6月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・第1,第2 クォーター 履修申告		・第1クォ ーター期末 試験・補講 ・企業の 選考開始 ・就職活動 再点講座	・第2クォ ーター期末 試験・補講	・第3,4 クォーター 履修申告	・就職正式 内定	・第3 クォーター 期末試験・ 補講	・修士課程 学位論文 審査申請 ・博士後期 課程 進学願書 受付	・第4クォ ーター期末 試験・補講	・論文発表 会、論文審 査及び最終 試験 ・博士後期 課程進学 試験	・博士後 期課程進 学合格通 知発送 ・学位記 授与式

新型コロナウイルスの影響で、スケジュールや内容に変更がある可能性があります。最新情報を確認してください。

1. 指導教員、研究室以外の教職員に相談したい。話がしたい。

- ◆アカデミックアドバイザー・・・各学生に、指導教員＋1名(計2名)のアカデミックアドバイザーが割り振られている。
- ◆コース主任
- ◆学生相談室・・・学生相談委員の教員と話ができる。
- ◆保健管理センター・・・医師・カウンセラー・保健師・看護師・薬剤師に相談できる。
- ◆学修コンシェルジュ・・・学内の相談のワンストップ窓口。相談内容があいまいな場合もOK。
- ◆キャリアアドバイザー・・・就職活動、キャリア全般(進学、留学等を含む)について相談できる。
- ◆くらまえアドバイザー(蔵前工業会会員の卒業生)・・・専門を活かせる業界・企業について、研究開発職のキャリアについて相談できる(キャリアアドバイザーを通じて相談が可能)。

2. 所属コースの専門以外を学びたい(独学ではなく、単位、certificateの取得を目指す場合)

- ◆自分のコースの学修案内をまずは熟読する。修了要件の単位の中に、「コース標準学修課程以外の専門科目または研究関連科目」があるので、その単位を他コースの科目の履修で取る。
- ◆副専門学修プログラム、特別専門学修プログラムを履修する。
- ◆リーダーシップ教育課程(ToTAL)、物質・情報卓越教育課程(TAC-MI)、超スマート社会卓越教育課程(WISE-SSS)、エネルギー・情報卓越教育課程(ISE)等、学位プログラムとして特別に設けた教育課程を履修する。

3. (就職活動に向けて)学業研究以外に学内で何か経験したい

- ◆所属研究室の運営(後輩指導、清掃や環境整備、懇親会やOB会開催の手伝い、学会手伝い等)に積極的に協力する。
- ◆各種のTA(Teaching Assistant)に応募する。→TAは、指導教員や授業担当教員から依頼されることが多い。
- ◆MOOC等のオンライン教材開発に参加してみる。
- ◆研究室の留学生と積極的に交流する。

FAQ

4. 授業を通してリーダーシップを身に付けたい

- ◆ 文系教養科目のコア学修科目を履修し、GSA(大学院生アシスタント)プログラムに参加する。
- ◆ 学位プログラムとして特別に設けた教育課程(リーダーシップ教育課程、物質・情報卓越教育院、エネルギー・情報卓越教育院、超スマート社会卓越教育院、リーディング大学院等)を履修する。

5. インターンシップに行きたい

- ◆ 自分のコースの学修案内をまずは熟読する。コースによってはインターンシップが授業科目になっていることもあるので、所属コースのオリエンテーションに出席して、インターンシップ科目の詳細について聞いてみる。
- ◆ 所属コースの掲示板にも、コースを指定して募集されるインターンシップ情報が掲示されることがある。
- ◆ 5月に学内で実施するインターンシップガイダンスに参加し情報を得る。
- ◆ 授業科目ではなく、個人で参加するインターンシップについては、自分で就職サイトや、個別企業のウェブサイトの採用のページでインターンシップ開催情報を収集し応募する。(修士論文研究に支障がないように)
- ◆ 企業から大学全体を対象に送られてくるインターンシップ情報は、大学HPの求人票検索システム(キャリアスUC)に掲載されている。

→ https://www.titech.ac.jp/enrolled/career/jobs_search.html



- ◆ 大学院課程学生の研究型インターンシップ(中長期の産学間交流)については、オンラインマッチングシステムを活用。<https://www.c-engine.org/> 必要に応じて、イノベーション人材養成機構(IIDP)の教員のサポートを得られるので、活用を。
- ◆ 研究室によっては、「インターンシップ」という名前はついていなくても、学外(企業、研究所など)との共同研究で、修士論文研究を学外で行う機会がある。指導教員に学外で研究する機会がないか問い合わせしてみる。
- ◆ 学位プログラムとして特別に設けた教育課程にも、インターンシップが含まれる。
- ◆ 上記いずれの場合も、インターンシップに参加する場合は研究室を不在にすることになるので、研究計画に無理が出ないよう、事前に指導教員によく相談する。



● FAQ

6. 就職活動、キャリアについて、いつごろ何が必要か早めに知っておきたい。

- ◆キャリアアドバイザーによるキャリア相談を利用する

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/career/counseling.html>

- ◆就職資料室に行き、情報収集をする(就職体験記、キャリアアドバイザーの企業人事訪問記、東工大就職ガイドブックなどの東工大オリジナル情報あり)。

7. 博士後期課程進学について情報が欲しい、誰かに相談したい

- ◆指導教員、家族に相談する。所属研究室の先輩達(先生方、博士学生)に相談する。
- ◆【大岡山】教務課大学院グループ・【すすかけ台】教務課すすかけ台教務グループへ相談する。